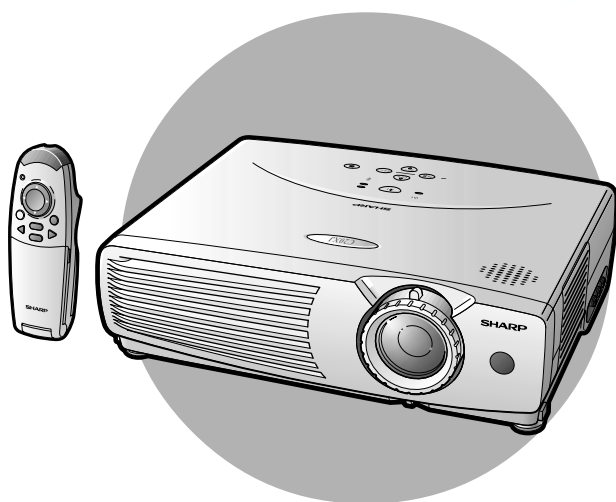


SHARP®

液晶プロジェクター ピー ジー シー エックスジェイ 形名 PG-C20XJ

取扱説明書



液晶データビジョン

このたびはシャープ液晶プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。……4ページ

- 保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。
- 製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。
- なお、この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる所に必ず保存してください。

はじめに



設置と接続のしかた



基本操作



便利な機能を使う



正しくお使いいただくために



付録



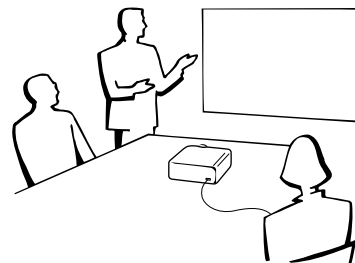


特長

新開発光学エンジンを搭載、持ち運びに便利な小型(容積約 4%)・軽量(2.6Kg)設計。
XGA(1024 × 768)リアル表示、SXGA(1280 × 1024)まで幅広いパソコン入力に対応しています。

1 軽量コンパクト

質量 2.6Kg、容積 約 4%の軽量・コンパクトを実現。



2 高画質設計

高コントラスト 500 : 1 を実現

新開発光学メカにより、コントラスト比 500 : 1 を実現。

色ムラを抑える 3次元デジタルユニフォミティ補正回路搭載

液晶パネルの光の透過率のバラツキと色ムラを補正する新開発デジタルユニフォミティ補正回路搭載。画面の明るさの均一性を高め、より見やすい画像を実現します。

ガンマ補正機能の採用

映像や部屋の明るさに合わせ、階調表現を変えるなど、3種類のガンマ設定でお好みの映像が楽しめます。

3次元 Y/C 分離回路でより美しいビデオ映像を実現

3次元 Y/C 分離回路により、ビデオ映像でのドット妨害やクロスカラーノイズを最小限におさえ、高品位な映像が楽しめます。

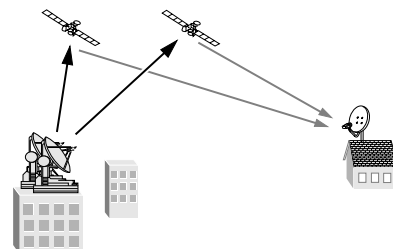
3 システム・操作性

SXGA(1280 × 1024)までの幅広いパソコン入力対応

- ・VGA(640 × 480) SVGA(800 × 600) ...拡大表示
- ・XGA(1024 × 768) ...リアル表示
- ・SXGA(1280 × 1024/垂直周波数 60Hz) ...高品位圧縮表示

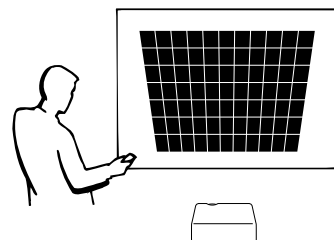
世界の主な映像信号方式に対応

世界の主な映像信号方式NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/SECAMに対応しています。



ジャギーレスキーストーン補正機能搭載

スクリーンに対する投影角度により歪んだ画像を、デジタル処理によりジャギー(ギザギザ感)を低減するとともに、アスペクト比補正も同時に行いますので自然な画像を実現します。





もくじ

はじめに

	ページ
特長	2
もくじ	3
安全に正しくお使いいただくために	4
使用上のご注意	8
海外でご使用になるときは	8
各部のなまえ	9
本体	9
リモコン	11
リモコンの使いかた	12

設置と接続のしかた

付属品を確認する	14
設置のしかた	15
アジャスターの使いかた	15
スクリーンを設置する	16
接続のしかた	19
接続例	19
コンピュータと接続する	20
シリアル(RS-232C)端子へ接続する	21
プロジェクターにビデオ機器を接続する	22
モニターへ接続する	24
オーディオアンプなどオーディオ機器と接続する	24

基本操作

投影のしかた	26
電源を入れてから切るまで	26
レンズ調整	28
画面の台形歪みを補正する	29
リモコンのワイヤレスマウス機能を使用する	30
メニューの使いかた	32
メニュー表示内容一覧	32
メニュー項目別の設定調整内容一覧	33
メニューの基本操作	34
映像を調整する	36
コンピュータの映像を調整する	36
ビデオ、DVDプレーヤーなどの映像を調整する	38
同期調整について	40
コンピュータの映像を手動で同期調整する	40
自動同期調整について	41
特殊モード調整	42
入力信号を確認する	43
再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する	44
映像の左右反転 / 上下反転のしかた	46

便利な機能を使う

	ページ
静止画機能	48
映像をデジタル拡大する	49
ガンマ補正	50
画像表示モードを選ぶ	51
無信号時電源オフモードを選ぶ	52
無信号時に表示する画面を設定する	53
画面表示言語を選ぶ	54
省電力モードの切り換えかた	55
ランプ(光源)の使用時間を確認する	56

正しくお使いいただくために

お知らせ表示 / ランプ(光源)について	58
お知らせ表示について	58
ランプ(光源)について	59
お手入れのしかた	60
エアーフィルターのお手入れのしかた	60
エアーフィルターの交換のしかた	62

付録

本体のコネクタのピン配置	64
RS-232C ポート仕様	65
RGB 入力信号(推奨信号)について	67
故障かな? と思ったら	68
アフターサービスについて	69
お客様ご相談窓口のご案内	70
仕様	72
寸法図	73
用語集	74
索引	75



安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

絵表示の意味
(絵表示の一例です)



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



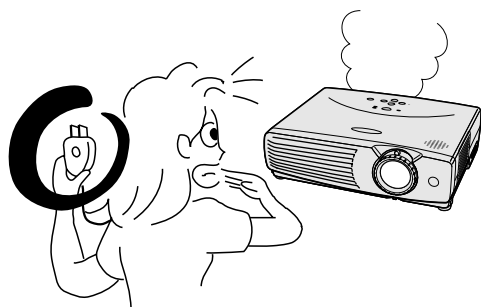
記号は、しなければならないことを表しています。

警告

煙が出ている、変なにおいや音がするなど
異常状態のときは電源プラグを抜く



- 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。



キャビネットは絶対にあけない



- この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

- サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

指定以外の電圧では使用しない



- 表示された電源電圧(交流100～240ボルト)以外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

液晶プロジェクターを落としたときは

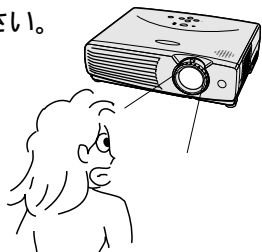


- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

レンズをのぞかない



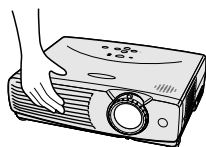
- 投影中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



高温部には触れない



- 投影中は、光源ランプ交換ドアや排気孔、およびその周辺部に触れないでください。高温になりますので、やけどの原因となります。



不安定な場所に置かない



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは



- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

内部にもものや水などを入れない



- この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 異物がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- この機器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



- 雷が鳴りはじめたら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない



- ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままご使用すると、火災・感電の原因となります。



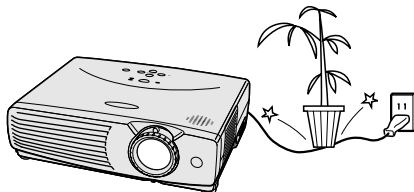
安全に正しくお使いいただくために(つづき)

⚠ 警告

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

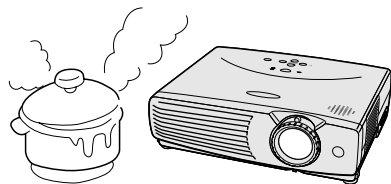
湿気やほこりの少ない場所に置く



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



重いものを置かない

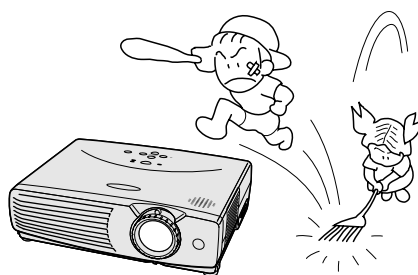


- この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。



- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから10cm以上はなして設置してください。



- 次のような使い方はしないでください。この機器を横倒しや、レンズを上または下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

置台に据えつけるときは



- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

⚠ 注意

移動させるときは必ず接続線をはずす



- 移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

指定以外の電池は使わない

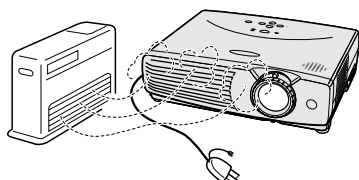


- 機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する



- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜く



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く



- 旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く



- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



- 電源プラグは、根元まで差し込んででもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する



- 3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。本機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。



使用上のご注意

設置するときはつぎの点にご注意ください。

ホコリ、湿気の少ないところへ

- 湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

直射日光や、照明の光はさけてください

- スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

本機を 7 度以上傾けないように設置してください

- 設置範囲(水平に対する角度) + 7°

高温、低温の場所はさけてください

- 使用温度範囲 5 ~ 35
- 保存温度範囲 - 20 ~ 60

排気孔や吸気孔をふさがないように

- 排気孔側に壁やモノがある場合は、10cm 以上スキ間をあけて設置してください。
- 吸気孔をふさがないように設置してください。

温度

温度モニター機能

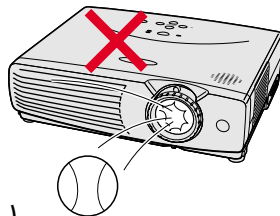
- 設置状況やエアークフィルターの目づまり等によりプロジェクター内部の温度が高温になると、「温度」マークが画面に表示されます。さらに温度が上昇し続けると、ランプ(光源)が消灯し、プロジェクターの温度表示(ランプ)が点滅し、90 秒間の冷却期間の後、電源が切れます。詳細については 58 ページの「お知らせ表示について」をご参照ください。

！ 注意

- 冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているためで、故障ではありません。
- 投影中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

衝撃を与えないでください

- 本機のレンズには、特にご注意ください表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



目をときどき休めてください

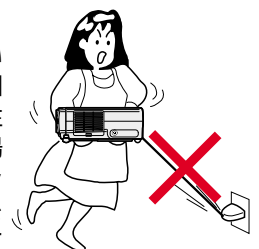
- 連続して長い時間画面を見ていると、目を疲れさせます。ときどき目を休めてください。

接続機器について

- プロジェクターにコンピュータや AV 機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。
- 接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

持ち運びのご注意

- 持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。なお、移動させる場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。



- ・ Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国々における登録商標です。
- ・ PS/2、PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。
- ・ Macintosh はアップルコンピュータ・インクの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

海外でご使用になるときは

- お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、その国に合った電源コード(別売品)をご使用ください。

主な地域	電源コード部品番号
北米	CACCU5013DE01
ヨーロッパ	QACCV4002CEZZ
イギリス、香港、シンガポール	QACCB5024CENA
オセアニア	QACCL3022CEZZ
中国	QACCZ3030CESA

詳しくは、もよりのお客様相談窓口の「一般ご相談窓口(71 ページ)にお問い合わせください。



各部のなまえ

■ は参照ページを示しています。

本体

天面操作部

電源ボタン（入/切）

電源表示

台形補正ボタン / ▲▼ボタン
[(▲/+) (▼/-)]

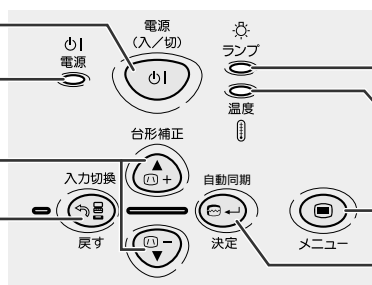
入力切換・戻すボタン

26・27

26

29・34

27・34



26・58

58

34

34・41

ランプ交換お知らせ表示

温度モニター
お知らせ表示

メニューボタン

自動同期調整・決定ボタン

前面・天面

冷却ファン（排気孔）

アジャスター
リリースボタン

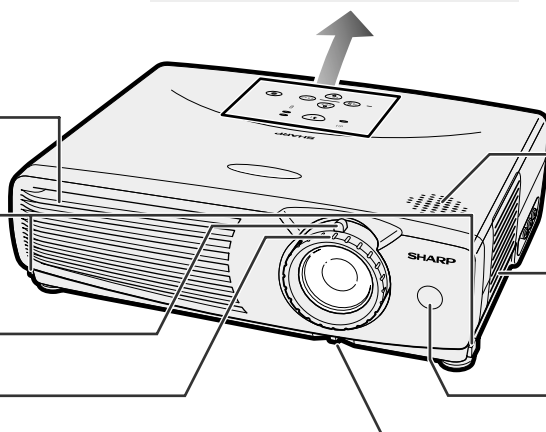
ズームレバー

フォーカスリング

15

28

28



スピーカー

60

エアフィルター/
冷却ファン（吸気孔）

12

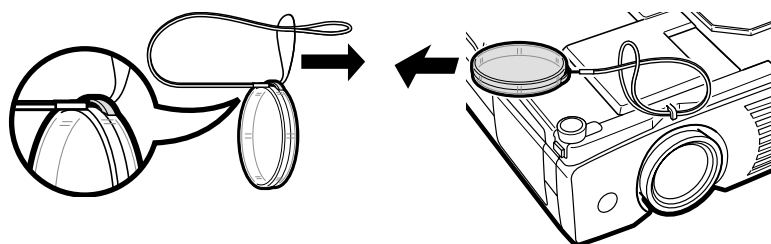
リモコン受信部
レンズキャップストラップ
取付部

各部のなまえ	はたらき
①電源（入/切）ボタン	電源を入、切します
②電源表示	待機状態では赤、電源を入れると緑に変わります
③台形補正[(▲/+) (▼/-)]ボタン	画面の台形歪みを補正したり、メニューの選択や各調整画面で調整を行うときに使用します
④入力切換・戻すボタン	接続された外部機器の入力信号を切り換えたり、メニュー画面で1つ前の操作の状態に戻したりします
⑤ランプ交換お知らせ表示	通常は緑色で点灯。赤色で点灯したときはランプ交換が必要です
⑥温度モニターお知らせ表示	通常は緑色で点灯。内部温度が高温になると赤色で点灯します
⑦メニューボタン	メニューを表示します
⑧自動同期調整・決定ボタン	コンピュータ接続時の同期を自動での調整と、各操作の区切りや選択項目の決定などを行うとき使用します

レンズキャップストラップの取り付けかた

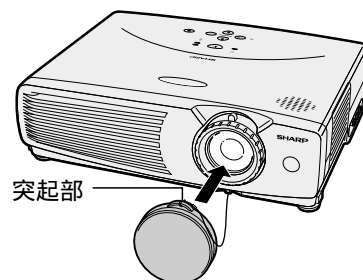
① レンズキャップにレンズキャップ
ストラップ（付属品）を取り付ける

② 本体に取り付ける



レンズキャップの装着のしかた

① 図のように突起部を上にして装着します



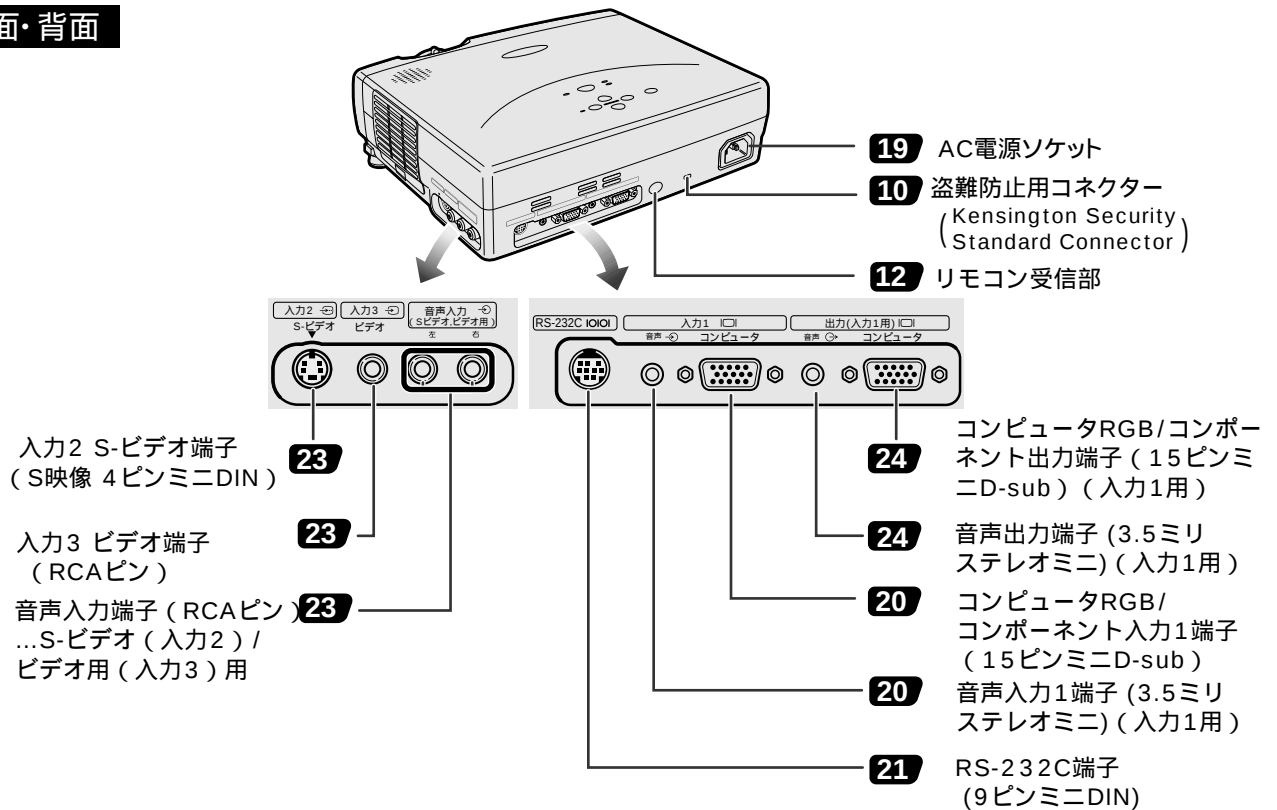
つづく



各部のなまえ(つづき)

■ は参照ページを示しています。

側面・背面



各部のなまえ	はたらき
入力2 S-ビデオ端子 (S映像 4ピンミニDIN)	S端子付ビデオ機器を接続するときに使用します
入力3 ビデオ端子 (RCAピン)	RCAピンジャックタイプのビデオ入力用端子です
音声入力端子 (RCAピン) ...S-ビデオ (入力2) /ビデオ用 (入力3) 用	入力2 Sビデオ端子や入力3 ビデオ端子に接続した機器共用のRCAピンジャックタイプ音声入力端子です
コンピュータRGB/コンポーネント出力端子 (15ピンミニD-sub) (入力1用)	入力1に接続した機器の信号のコンピュータRGB/コンポーネント信号出力端子です (コンポーネント525i専用)
音声出力端子 (3.5ミリステレオミニ) (入力1用)	入力1に接続した機器の音声出力用端子です
コンピュータRGB/コンポーネント入力1端子 (15ピンミニD-sub)	コンピュータRGB/コンポーネント信号入力端子です (コンポーネント525i専用)
音声入力端子 (3.5ミリステレオミニ) (入力1用)	入力1に接続した機器の音声入力用端子です
RS-232Cコネクター (9ピンミニDIN)	DIN - D-sub RS-232Cケーブル (付属品) とRS-232Cケーブル (市販品) を使ってコンピュータなどと接続します

入力1端子にコンポーネント (色差) 信号を入力するとき、本機のコンポーネント端子は525i専用です。

盗難防止用コネクターについて

市販の盗難防止用ケーブル (Kensington 社製) などを接続することができます。



- 盗難防止用コネクターは、Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラロイド株式会社 電子映像グループ

〒105-8456 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル Tel: 03-3438-8879 Fax: 03-5473-1630

は参照ページを示しています。

リモコン

上 面

リモコン信号発信インジケータ リモコン信号発信部
(リモコン信号発信時に点滅)

▲▼(メニュー選択/
マウスカーソル
移動)ボタン

◀(マウスカーソル
移動)ボタン

マウスボタン

静止画ボタン

メニューボタン

入力切替ボタン

台形補正ボタン
(+/-)

音量ボタン(+/-)

▶(マウスカーソル
移動)ボタン

電源ボタン(入/切)

↵決定/⌂右クリック
ボタン

拡大ボタン

自動同期調整ボタン

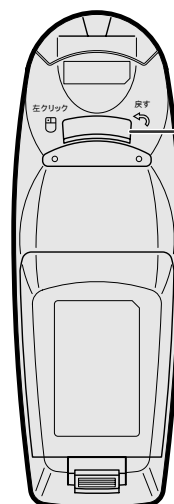
AVミュートボタン

モード切替ボタン

ガンマ補正ボタン

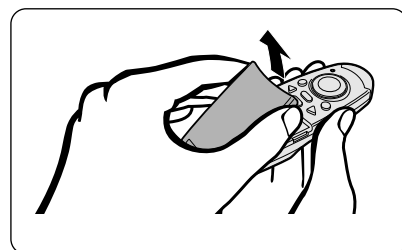
リモコンふた

底 面



⌂左クリック/
↵戻すボタン

リモコンふたの開きかた



各部のなまえ	はたらき
▲▼(メニュー選択/マウスカーソル移動)ボタン	メニューの選択や各調整画面で微調整したり、ワイヤレスマウスモード時にカーソルを移動するのに使用します
◀(マウスカーソル移動)ボタン	ワイヤレスマウスモード時にカーソルを移動するのに使用します
マウスボタン	ワイヤレスマウスモードに切り換えます
静止画ボタン	動画を静止画として記憶・表示します
メニューボタン	メニューを表示します
入力切替ボタン	入力を切り換えます
台形補正ボタン(+/-)	画面の台形歪みを補正します
音量ボタン(+/-)	スピーカーからの音量を調整します
▶(マウスカーソル移動)ボタン	ワイヤレスマウスモード時にカーソルを移動するのに使用します
電源(入/切)ボタン	電源を入、切します
↵決定/⌂右クリックボタン	メニューで選択調整した項目の決定や、ワイヤレスマウスモード時に右クリックボタンとして働きます
拡大ボタン	投影された映像をデジタル拡大します
自動同期調整ボタン	コンピュータ接続時の同期を自動で調整します
AVミュートボタン	映像と音を一時的に消します
モード切替ボタン	画面表示(ノーマルやドットバイドット)を切り換えます
ガンマ補正ボタン	部屋の明るさの違いなどによる見にくい映像を補正します
⌂左クリック/↵戻すボタン	メニュー画面で一つ前の画面に戻したり、ワイヤレスマウスモード時に左クリックボタンとして働きます



リモコンの使いかた



乾電池の入れかた

■ 乾電池はこの取扱説明書といっしょに入っています。〔単4形(R03)2本〕

1 カバーのつめを押して矢印の方向に開けます	2 付属の乾電池を入れます	3 カバーの突起をリモコンの穴に差し込み、矢印の方向に閉めます

乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。



注意

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れもありますのですぐ取り出してください。
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。



メモ

- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。

リモコンの使用範囲

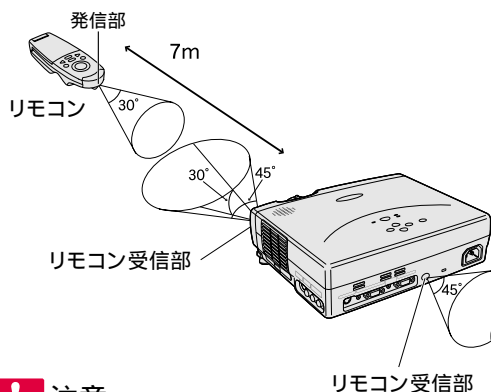
■ リモコンの使用範囲は下図のとおりです。



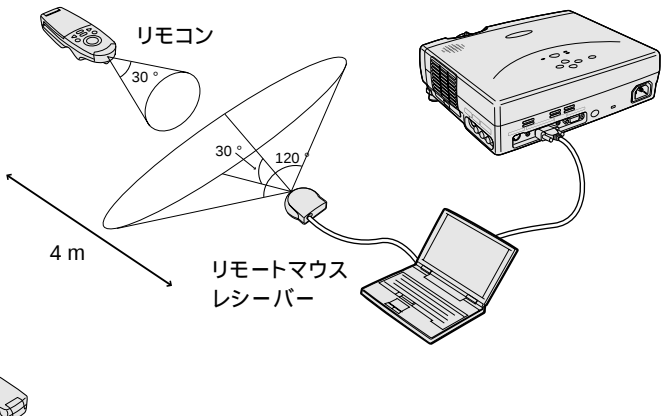
メモ

- リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。
- リモートマウスレシーバーの接続のしかたは、30 ページをご覧ください。

プロジェクターを制御する場合



リモートマウスレシーバーを制御する場合



注意

- リモコンの使用上のご注意
- 衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。

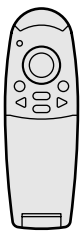


設置と接続のしかた





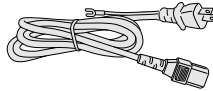
付属品を確認する



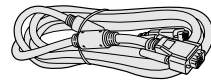
リモコン



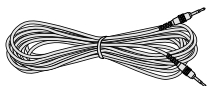
単4形乾電池(2本)



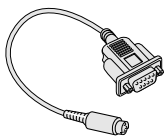
電源コード



コンピュータ(RGB)
ケーブル



コンピュータ
音声ケーブル



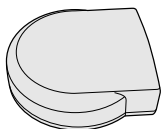
DIN—D-sub RS-232C
ケーブル



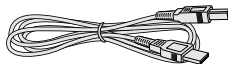
レンズキャップ



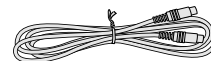
レンズキャップストラップ



リモートマウスレシーバー



マウスコントロール
ケーブル(USB用)



マウスコントロール
ケーブル(PS/2用)



エアーフィルター
(交換用)

取扱説明書(本書)

保証書

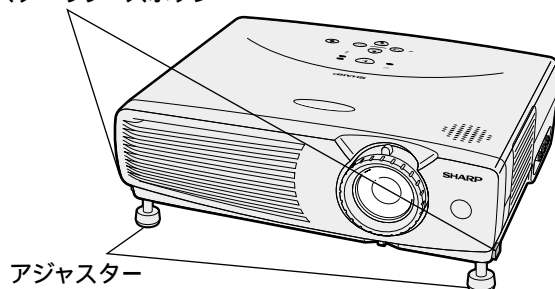


設置のしかた

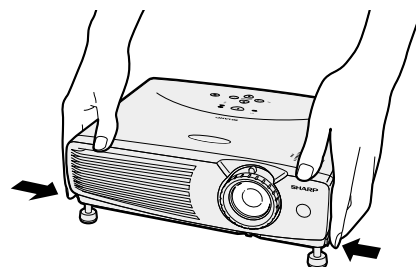
アジャスターの使いかた

- スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを微調整することができます。
- スクリーンよりプロジェクターが低いときは、傾けることで投影画面を高くすることができます。

アジャスターリリースボタン

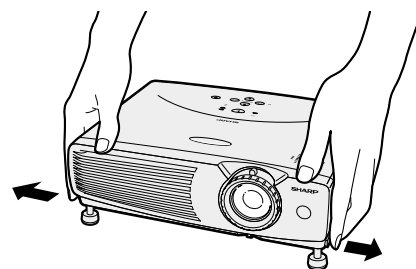


1 アジャスターリリースボタンを押す



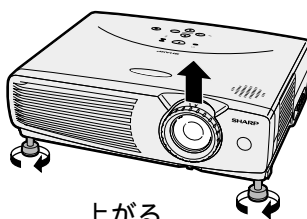
2 プロジェクターを持ち上げて高さを調節し、アジャスターリリースボタンから手を離す

伸びたアジャスターが設置面に届いていることを確認してください。

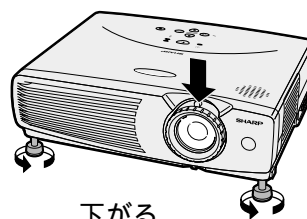


3 アジャスターをまわして、微調整する

アジャスターをまわすと少しずつ上下します。ぐらつきがないようにしてください。



上がる



下がる



- 元に戻すときは、プロジェクターをしっかり持ってアジャスターリリースボタンを押さえて下へおろします。
- プロジェクターは標準位置から約7度まで角度調節できます。
- プロジェクターの高さを調整した場合、プロジェクターとスクリーンの位置関係によっては、映像が歪む場合があります。

！ 注意

- アジャスターが伸びている状態でアジャスターリリースボタンを押したときは、プロジェクターをしっかりささえて高さを調整してください。
- プロジェクターを上下するとき、レンズを持たないでください。
- プロジェクターを下げるとき、プロジェクターとアジャスターの間に指をはさまないように注意してください。



設置のしかた(つづき)

スクリーンを設置する

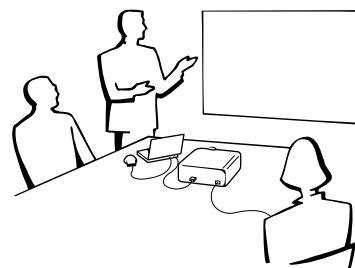
- プロジェクターを水平な状態にして(アジャスターを使わない状態)、スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。

メモ

- プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んでしまい、見にくくなります。
- スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。
- このプロジェクターは偏光スクリーン対応ではありません。

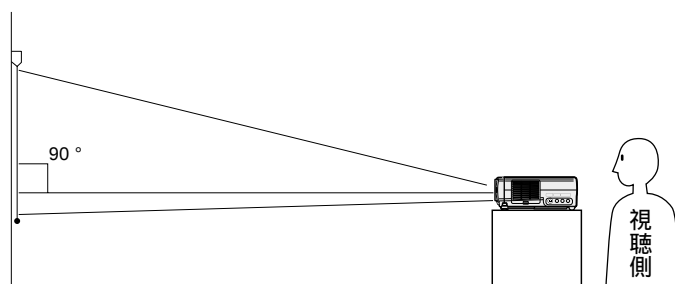
基本的な設置(前面からの投影)

- 投影したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。(次ページ表参照)



基本設置例

横から見たとき



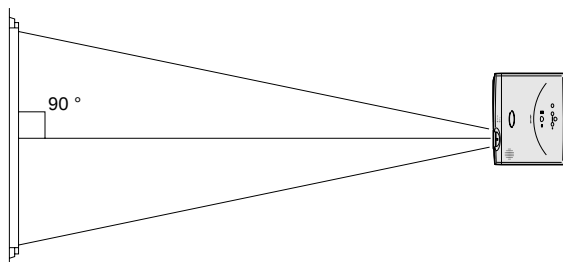
- スクリーンからプロジェクターまでの距離は、スクリーンの大きさによって変わります。

17ページ

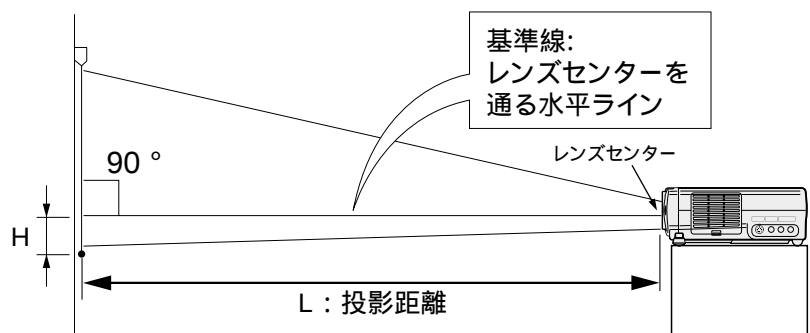
- スクリーンの正面にプロジェクターを設置する場合は、工場出荷時の設定のままで投影できます。投影した画面の上下左右が反転している場合は、「投影方式」のサブメニューで、標準に設定しなおしてください。

46ページ

上から見たとき



- レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になるように、プロジェクターを設置してください。



4:3 ズームモード (コンピュータ入力時は、ノーマルモード表示)51 ページ参照

フォーカス可能保証範囲：1.15 ～ 10 m

画面サイズ			投影距離 (L)		レンズセンター位置から画面の 最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1：最長 (m)	L2：最短 (m)	
250	約5.1	約3.8	10.0	9.9	38.1 cm
200	約4.1	約3.0	9.6	7.9	30.5 cm
150	約3.0	約2.3	7.2	5.9	22.9 cm
120	約2.4	約1.8	5.7	4.7	18.3 cm
110	約2.2	約1.7	5.2	4.3	16.8 cm
100	約2.0	約1.5	4.8	3.9	15.2 cm
80	約1.6	約1.2	3.8	3.2	12.2 cm
60	約1.2	約0.9	2.8	2.4	9.1 cm
40	約0.8	約0.6	1.9	1.6	6.1 cm
30	約0.6	約0.5	1.4	1.2	4.6 cm

画面サイズと投影距離の近似式

$$L1 = 0.0481x - 0.0447$$

$$L2 = 0.04x - 0.0447$$

$$H = 0.1524x$$

x：画面サイズ(対角)(型)

L1：最長投影距離(m)

L2：最短投影距離(m)

H：レンズセンター位置から画面の
最下端までの距離(H)(cm)

16:9 スクイーズ(フル)モード

フォーカス可能保証範囲：1.15 ～ 10 m

画面サイズ			投影距離 (L)		レンズセンター位置から画面の 最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1：最長 (m)	L2：最短 (m)	
230	約5.1	約2.9	10.0	10.0	- 9.6 cm
200	約4.4	約2.5	10.0	8.6	- 8.3 cm
150	約3.3	約1.9	7.8	6.5	- 6.2 cm
120	約2.7	約1.5	6.2	5.2	- 5.0 cm
110	約2.4	約1.4	5.7	4.8	- 4.6 cm
100	約2.2	約1.2	5.2	4.3	- 4.2 cm
80	約1.8	約1.0	4.1	3.4	- 3.3 cm
60	約1.3	約0.7	3.1	2.6	- 2.5 cm
40	約0.9	約0.4	2.0	1.7	- 1.7 cm
30	約0.6	約0.4	1.5	1.3	- 1.3 cm

画面サイズと投影距離の近似式

$$L1 = 0.0524x - 0.0447$$

$$L2 = 0.0436x - 0.0447$$

$$H = - 0.0417x$$

x：画面サイズ(対角)(型)

L1：最長投影距離(m)

L2：最短投影距離(m)

H：レンズセンター位置から画面の
最下端までの距離(H)(cm)

4:3 ノーマルモード

フォーカス可能保証範囲：1.15 ～ 10 m

画面サイズ			投影距離 (L)		レンズセンター位置から画面の 最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1：最長 (m)	L2：最短 (m)	
180	約3.7	約2.7	10.0	9.5	- 9.1 cm
150	約3.0	約2.3	9.6	7.9	- 7.6 cm
120	約2.4	約1.8	7.6	6.4	- 6.1 cm
110	約2.2	約1.7	7.0	5.8	- 5.6 cm
100	約2.0	約1.5	6.4	5.3	- 5.1 cm
90	約1.8	約1.4	5.7	4.8	- 4.6 cm
80	約1.6	約1.2	5.1	4.2	- 4.1 cm
60	約1.2	約0.9	3.8	3.2	- 3.0 cm
40	約0.8	約0.6	2.5	2.1	- 2.0 cm
30	約0.6	約0.5	1.9	1.6	- 1.5 cm

画面サイズと投影距離の近似式

$$L1 = 0.0641x - 0.0447$$

$$L2 = 0.0533x - 0.0447$$

$$H = - 0.0508x$$

x：画面サイズ(対角)(型)

L1：最長投影距離(m)

L2：最短投影距離(m)

H：レンズセンター位置から画面の
最下端までの距離(H)(cm)

！ 注意

- 近似式には± 3%の誤差があります。
- 表中に -(マイナス信号) がついた値はレンズの中心の距離がスクリーンの下になることを示します。

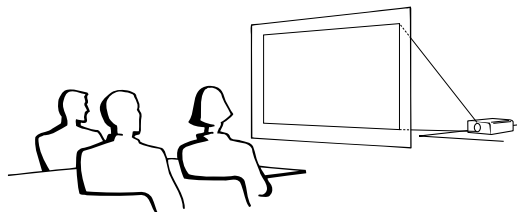


設置のしかた(つづき)

反転映像を投影するとき

スクリーン背後からの投影

- 透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。
- メニューの投影方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(46 ページ参照)
- 天井に取り付けた状態で、透過型スクリーンを使用したときは、「天吊り+リア」に設定してください。



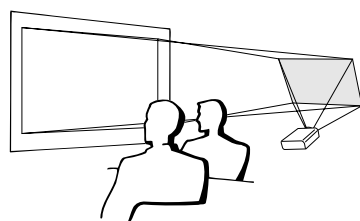
画面表示 工場出荷時の設定で投影すると...



映像の左右を反転します

ミラーを使った投影

- レンズの正面にミラー(表面鏡)を設置してください。
- 視聴者側にミラーを置くときは、メニューの投影方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(46 ページ参照)



画面表示 工場出荷時の設定で投影すると...



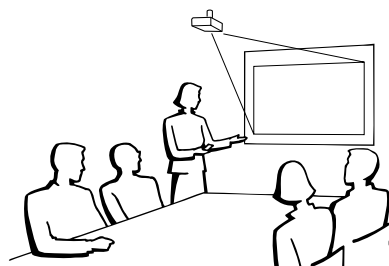
映像の左右を反転します

注意

- ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

天井取り付けによる投影

- 天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび取り付けアダプタが必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。
- プロジェクターを天井に設置するときは、17 ページのレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)に合わせて設置位置を決めてください。
- メニューの投影方式を「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。



画面表示 工場出荷時の設定で投影すると...



映像の上下を反転します

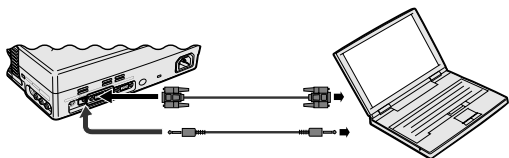


接続のしかた

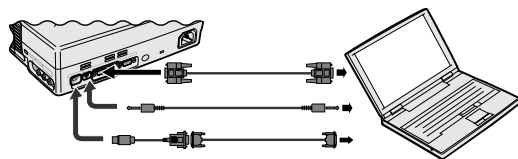
接続例

コンピュータとの接続

- 付属のコンピュータ (RGB) ケーブルを使って接続します。くわしくは 20 ページをご覧ください。

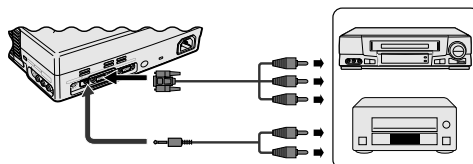


- RS-232C ケーブルを使って接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作 (制御) できます。くわしくは 21 ページをご覧ください。

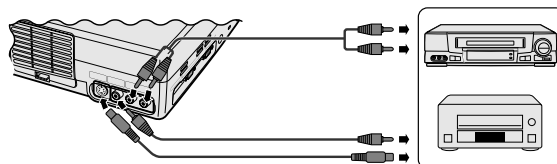


ビデオ、オーディオ機器との接続

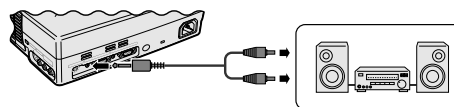
- 付属の D-sub/RCA ケーブルを使って DVD やデジタルビデオ等と接続します。くわしくは 22 ページをご覧ください。



- 市販の AV ケーブル等を使って DVD やデジタルビデオ等と接続します。くわしくは 23 ページをご覧ください。

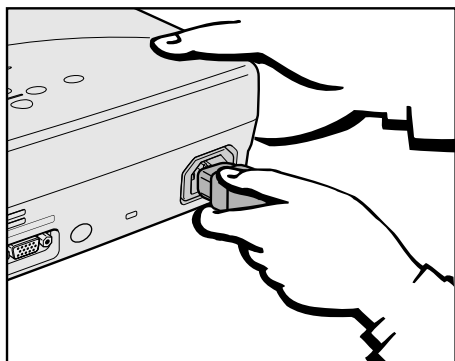


- オーディオケーブル (市販品) を使って接続します。くわしくは 24 ページをご覧ください。

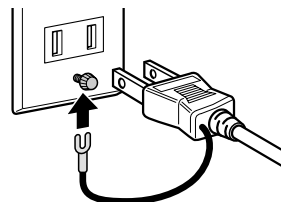


電源コードを接続する

プロジェクターの背面にある AC 電源ソケットに付属の電源コードを接続します。



- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- アースコードを取り外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。





接続のしかた(つづき)

コンピュータと接続する

- 接続を始める前に、必ずコンピュータの電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を先に入れ、一番最後にコンピュータの電源を入れます。
- 接続の際は、コンピュータの取扱説明書をよくお読みください。

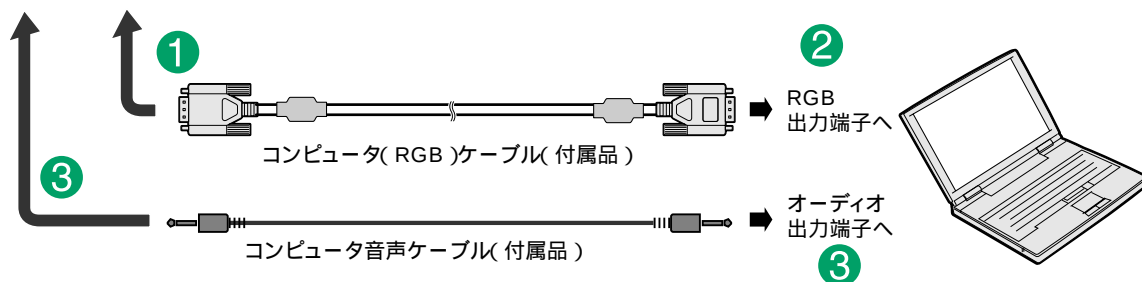
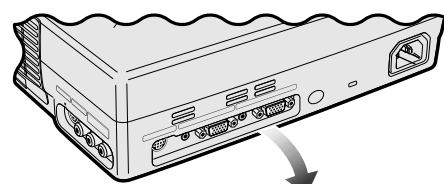
！ 注意

- 対応しているコンピュータの表示モードについてくわしくは、67 ページの一覧表をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本製品の機能の一部が使用できない場合があります。

付属のコンピュータ(RGB)ケーブルを使って接続する

IBM-PC または Macintosh と接続する

- 1 付属のコンピュータ(RGB)ケーブルの一方をプロジェクターの入力 1 端子に接続します。
- 2 もう一方をコンピュータの RGB 出力端子に接続します。
- 3 音声を入力する場合は、付属のコンピュータ音声ケーブルをプロジェクターの音声入力端子に接続し、もう一方をコンピュータの音声出力端子に接続します。



メモ

- Macintosh と接続する場合、コンピュータケーブルにアダプタが必要になる場合があります。販売店または、シャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

映像を投影するときは

この方法で接続したときは、「入力切換」ボタンを押して、入力信号タイプを「入力 1 (RGB 入力)」に切り換えてください。画面に **入力 1** RGB 入力 が表示されます。



「プラグ&プレイ」機能(15ピン端子に接続する)

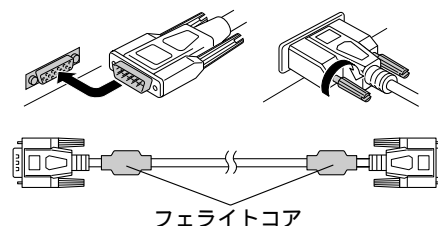
- 本機は VSEA-standard DDC 1/DDC 2B に準拠しています。本機と VESA DDC 準拠のコンピュータでは、設定内容を送受信(通信)しますので、早く簡単にセットアップすることができます。
- 「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、かならずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。

メモ

- 本機の DDC プラグ&プレイ機能は VESA DDC 互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。

コンピュータ(RGB)ケーブルの取り扱いについて

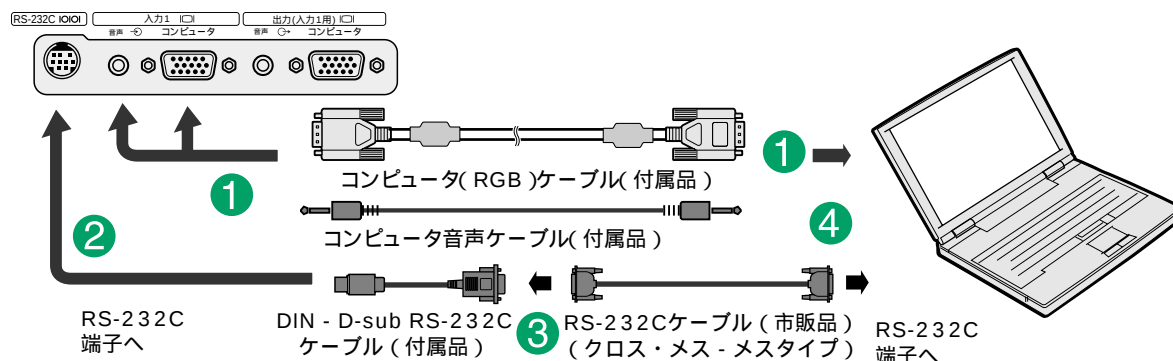
- 本機とコンピュータに接続するコンピュータ(RGB)ケーブルは、端子の形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。
- コンピュータ(RGB)ケーブルについているフェライトコアは、電気用品取締法基準に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。



シリアル(RS-232C)端子へ接続する

- 市販のRS-232Cケーブル(クロスタイプ)を使って、プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル(RS-232C)ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。くわしくは65ページをご覧ください。

- 1 あらかじめ、20ページの接続をしておきます。
- 2 付属のDIN - D-Sub RS-232Cケーブルの一方をプロジェクターのRS-232C端子に接続します。
- 3 付属のDIN - D-Sub RS-232Cケーブルのもう一方に、市販のRS-232Cケーブル(クロスタイプ)を接続します。
- 4 市販のRS-232Cケーブルのもう一方をコンピュータのRS-232C端子に接続します。



！ 注意

RS-232Cケーブルを接続するときは

- コンピュータの電源が入っているときには、コンピュータにRS-232Cケーブルを接続したり、外したりしないでください。
- DIN - D-sub RS-232Cケーブル以外は接続しないでください。
- パソコン側のRS-232C端子以外には接続しないでください。コンピュータまたはプロジェクターが破損する恐れがあります。

メモ

- コンピュータポートが正しく設定されていないと、コンピュータからプロジェクターを操作するなどの機能が正しく動作しないことがあります。
- Macintoshコンピュータを接続する場合、アダプタが必要になる場合があります。くわしくは販売店にご相談ください。



接続のしかた(つづき)

プロジェクターにビデオ機器を接続する

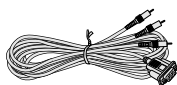
- 本機は、BS デジタルチューナー・DVD プレーヤー・ビデオ・レーザーディスクプレーヤー・その他の AV 機器と接続することができます。

！ 注意

- ビデオ機器を接続するときは、プロジェクターとビデオ機器の両方の電源を切ってから接続してください。

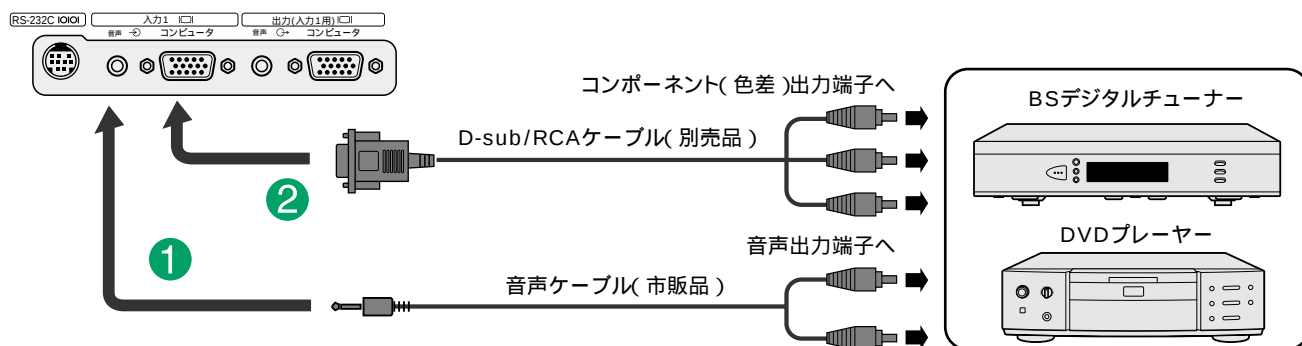
BS デジタルチューナーや DVD プレーヤーなどを別売の D-sub/RCA ケーブルを使って入力 1 端子に接続する

別売品



D-sub/RCA ケーブル
形名：AN-C3CP

- 1 別売の D-sub/RCA ケーブルでプロジェクターの入力 1 端子とビデオ機器のビデオ出力端子を接続します。
- 2 市販の音声ケーブルでプロジェクターの音声入力端子とビデオ機器の音声出力端子を接続します。



映像を投影するときは

本機の入力 1 端子に BS デジタルチューナーや DVD プレーヤーなどを接続したときは、「入力切換」ボタンを押して入力信号タイプを「入力 1 (色差入力)」に切り換えてください。

画面に **入力1** が表示されます。

色差入力

入力切換



お知らせ

- 本機の入力 1 コンピュータ RGB/コンポーネント端子に入力できるコンポーネント(色差)信号は 525i です。接続する機器のコンポーネント(色差)信号が 525i 以外に設定されているときは、525i に設定し直してください。信号の設定は接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

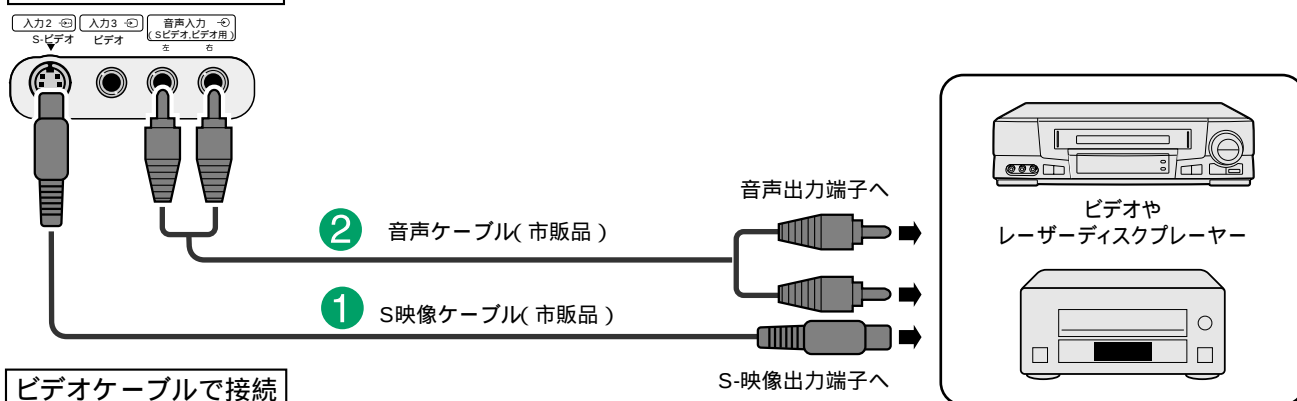
ビデオ・レーザーディスクプレーヤー・その他のAV機器を入力2または入力3端子に接続する接続する

- 1 S映像出力端子付きのビデオ機器を接続するときは
市販のS映像ケーブルでプロジェクターの入力2(S-ビデオ)端子とビデオ機器のS-ビデオ出力端子を接続します。
映像出力端子(RCAピン)付きのビデオ機器を接続するときは
市販のビデオケーブルでプロジェクターの入力3(ビデオ)端子とビデオ機器のビデオ出力端子を接続します。
- 2 市販の音声ケーブルでプロジェクターの音声入力端子とビデオ機器の音声出力端子を接続します。
(音声入力は、入力2 S-ビデオ、入力3 ビデオ共用端子です。)

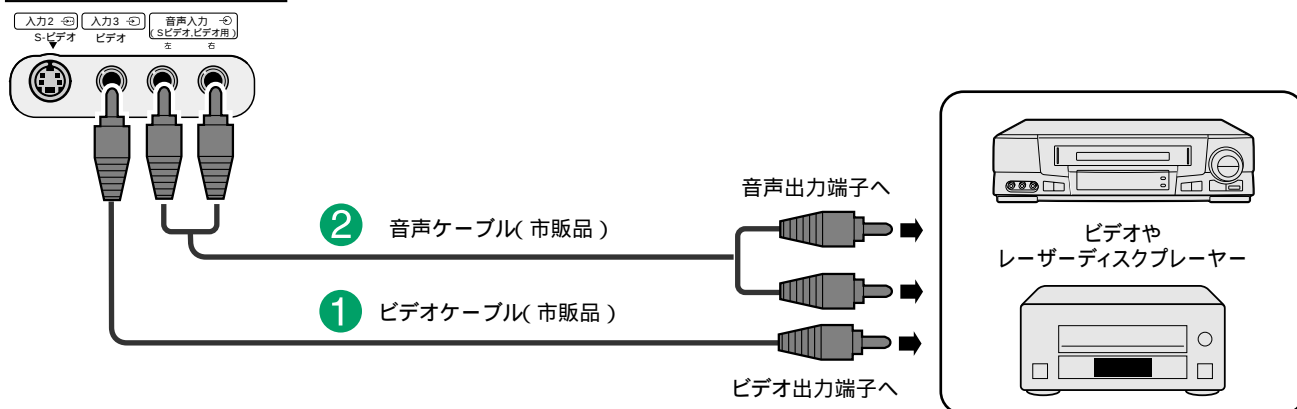
注意

- S映像 / 映像出力端子の両方が付いている機器を接続するときは、S映像ケーブルで接続することをおすすめします。
S映像 / 映像出力端子の両方を接続しないでください。

S映像ケーブルで接続



ビデオケーブルで接続



映像を投影するときは

- 手順 ① で S映像ケーブルを本機の入力2(S-ビデオ)端子に接続したときは、入力切換ボタンを押して入力信号タイプを「入力2(S-ビデオ)」に切り換えてください。画面に「入力2 S-ビデオ」が表示されます。
- 手順 ① でビデオケーブルを本機の「入力3(ビデオ)」端子に接続したときは、入力切換ボタンを押して入力信号タイプを「入力3(ビデオ)」に切り換えてください。画面に「入力3 ビデオ」が表示されます。



メモ

- お持ちのビデオ機器にS映像出力端子がない場合、ビデオ出力端子をお使いください。
S-ビデオ入力端子とビデオ入力端子は独立しています。(音声入力は共用)

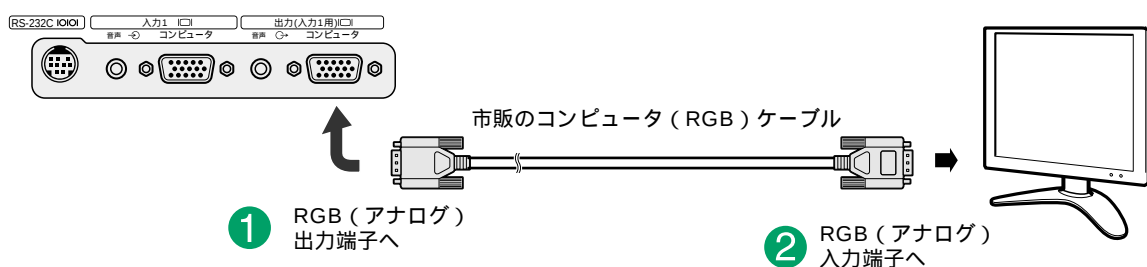


接続のしかた(つづき)

モニターへ接続する

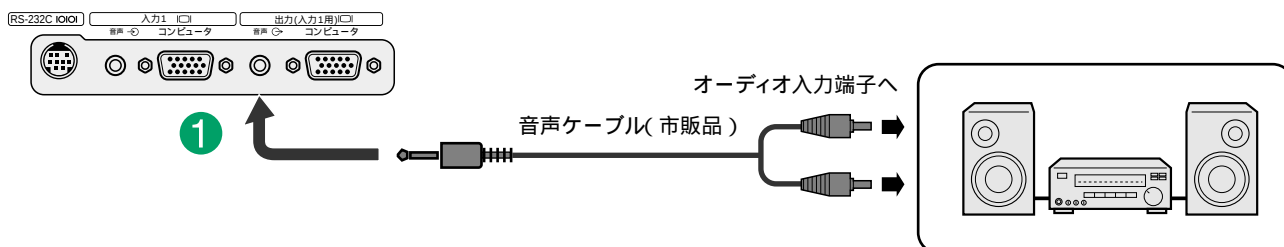
- プロジェクターの出力端子から RGB 入力を持つモニターへ接続すると、コンピュータの出力をプロジェクターとモニターの両方で表示させることができます。接続は、市販のコンピュータ(RGB)ケーブルをご使用ください。

- 1 市販のコンピュータ RGB ケーブルの一方をプロジェクターの RGB(アナログ) 出力端子に接続します。
- 2 コンピュータ RGB ケーブルのもう一方をモニターの RGB(アナログ) 入力端子に接続します。



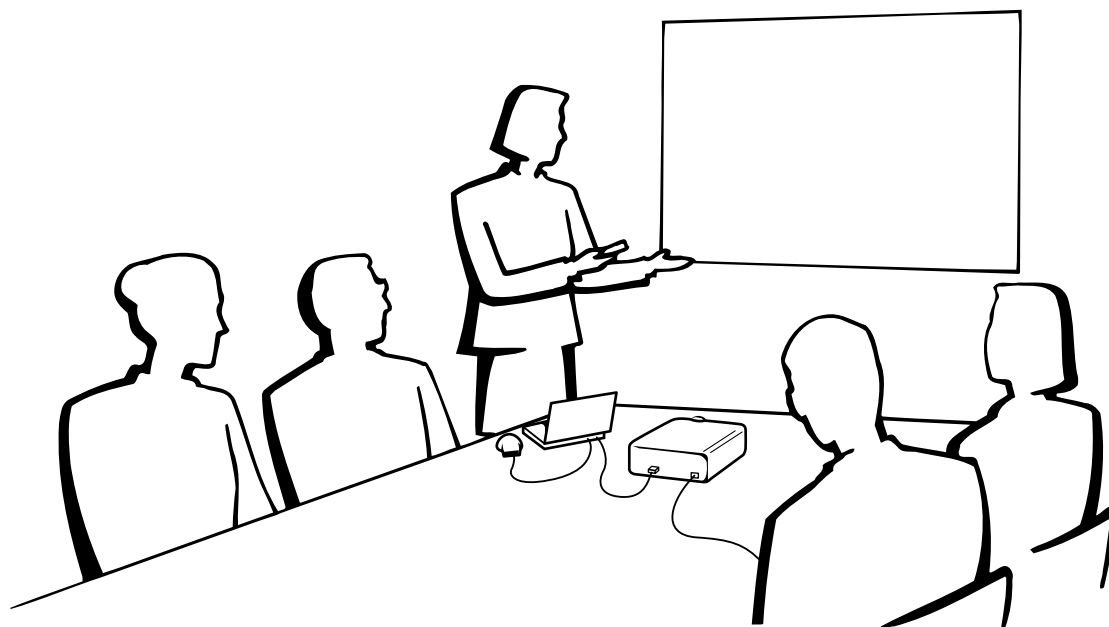
オーディオアンプなどオーディオ機器と接続する

- 1 市販の音声ケーブルでプロジェクターの出力 1(音声) 端子とオーディオ機器の音声入力端子を接続します。



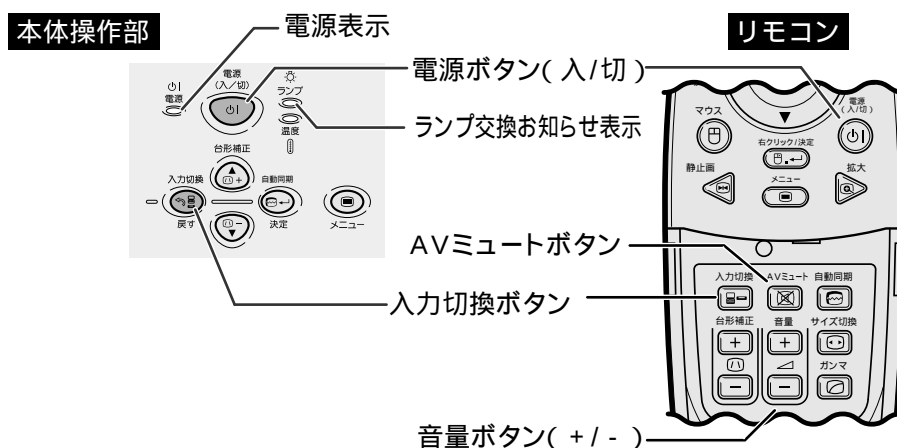


基本操作



投影のしかた

電源を入れてから切るまで



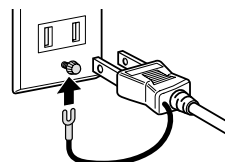
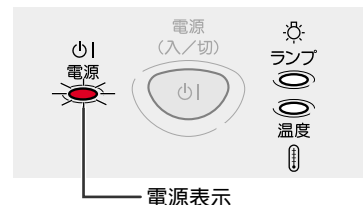
1 電源プラグをコンセントに接続する

- 電源表示が赤色に点灯し、プロジェクターが待機状態になります。

！ 注意

- 電源表示が点滅して投影されないときは、エアフィルターカバー(60ページ)が外れています。確実に取り付けてください。
- 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。

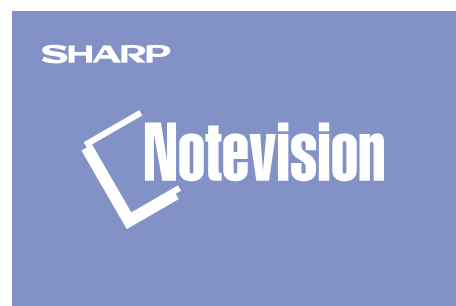
本体ランプ



2 電源ボタンを1秒以上押し、起動させる

- 電源表示が緑色で点灯します。ランプ(光源)の起動中は、ランプ交換お知らせ表示が緑色で点滅します。起動させると、画面に「Notevision」が表示されます。
- プロジェクターの電源を入れたあと、接続している機器の電源を入れます。
- 操作は「Notevision」が消えて映像が投影されてから操作してください。画面に「同期調整中」が表示されるまで、電源(入/切)以外の操作はできません。

電源(入/切)



メモ

- 電源を切った直後に、再び電源を入れたとき、ランプ交換お知らせ表示が緑色で点灯するまで、多少時間がかかる場合があります。

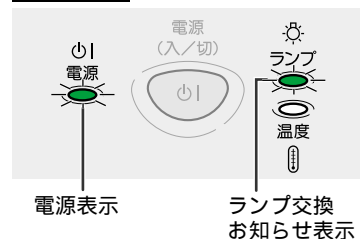
ランプ交換お知らせ表示はランプ(光源)の状態をお知らせします。

緑色点灯：光源点灯中

緑色点滅：光源起動中

赤色点灯：ランプ交換

本体ランプ



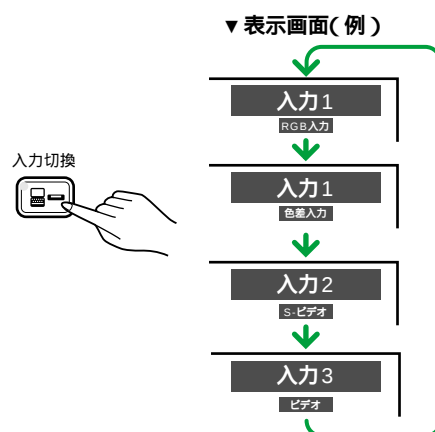
3 入力切換ボタンを押して、入力モードを選ぶ



- 信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで再生できない信号を受けると、「NOT REG」と画面表示されます。
- 画面のフォーカスが合っていない場合は、28ページの「フォーカス調整」を行ってください。
- 入力切換操作を行ったときは、自動同期調整が働き、「同期調整中」と画面に表示されます。(映像によっては、同期調整に多少時間がかかる場合があります。)

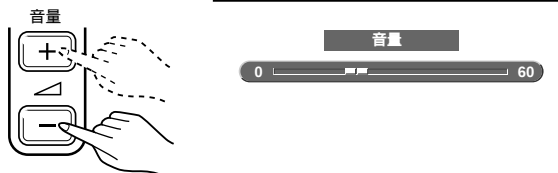
■ 入力モードについて

入力 1 (RGB 入力)	入力 1 端子に RGB 接続した機器を投影したいとき。
入力 1 (色差入力)	入力 1 端子にコンポーネント (色差) 接続した機器を投影したいとき。(525i 専用です。)
入力 2 (S-ビデオ)	S-ビデオ入力端子に接続した機器を投影したいとき。
入力 3 (ビデオ)	ビデオ入力端子に接続した機器を投影したいとき。



4 音量ボタンを押して、音量を調整する

- + を押すと音量が大きくなります。
- - を押すと音量が小さくなります。



5 AV ミュートボタンを押して、一時的に映像と音を消す

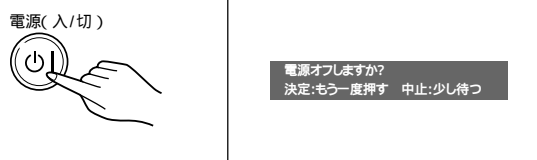
- もう一度 AV ミュートボタンを押すと、映像を表示し、音量が元の大きさに戻ります。



6 電源ボタンを 1 秒以上間押し、確認画面が表示されている間にもう一度、電源ボタンを押し、終了させる



- 電源を切るとき、電源ボタンを 2 回押すと、電源表示が赤色に点灯し、冷却ファンが約 90 秒間動作します。その後、プロジェクターは待機状態になります。
- 操作中に間違って電源ボタンを押したときは、そのまま放置してください。しばらくすると確認画面が消え操作することができます。



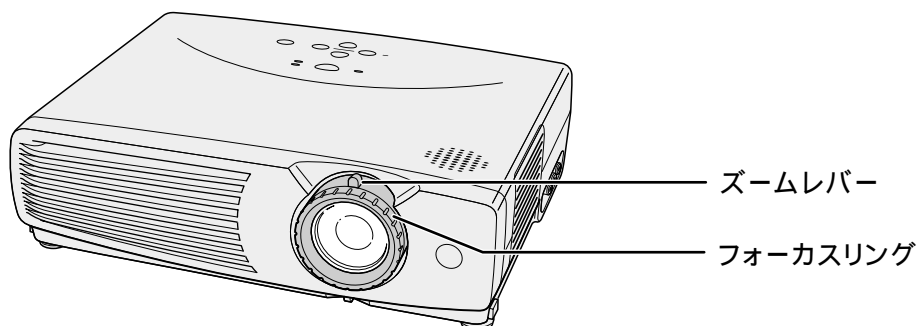
! 注意

- 投影中および冷却ファンの動作中に、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、内部温度上昇により故障の原因となります。

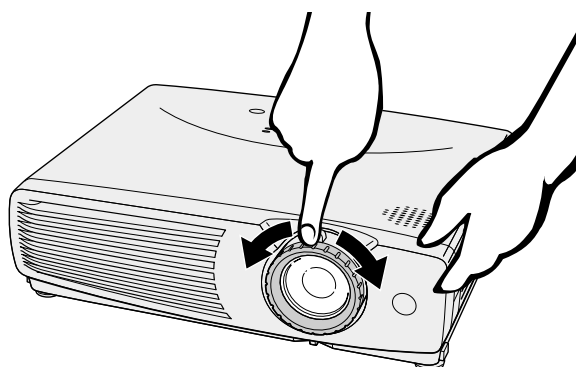
投影のしかた(つづき)

レンズ調整

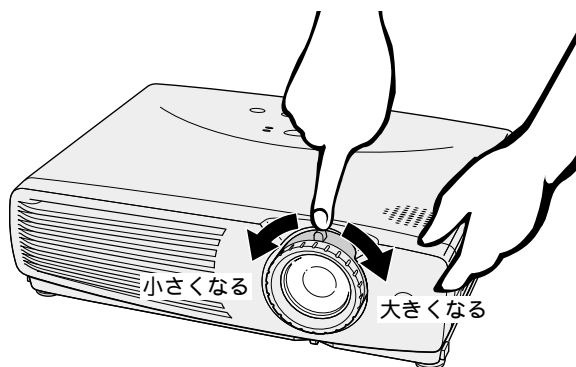
■フォーカス(ピント)調整やズーム操作は本体で行います。



■フォーカス(ピント)調整はフォーカスリングをまわして調整します。



■ズーム操作はズームレバーを動かし操作します。



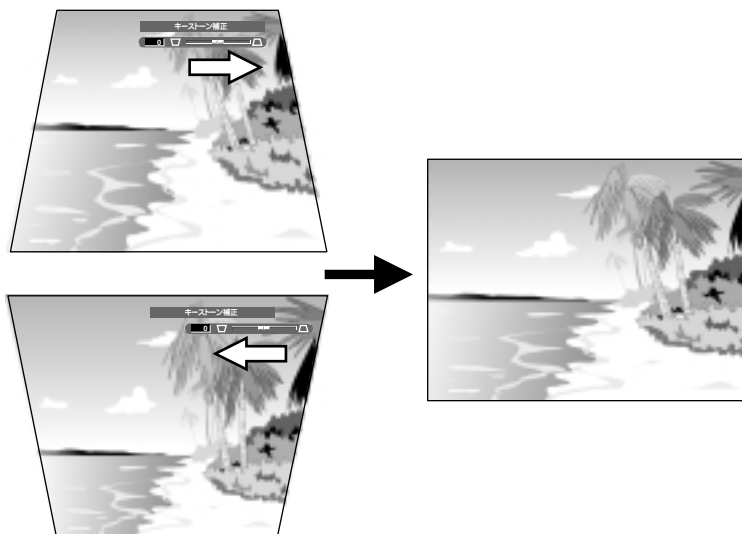
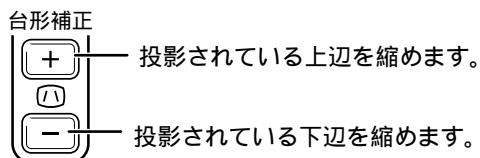
画面の台形歪みを補正する

- 本体操作部、リモコンを使って画面の台形歪み(デジタルキーストーン)補正が調整できます。



画面の台形歪み(デジタルキーストーン)補正とは
映像をスクリーンに対し上下から角度を付けて投影すると映像が台形に歪みます。
この台形を、4 : 3 のアスペクト比を保持しながら補正するのが画面の台形歪み(デジタルキーストーン)補正です。

キーストーン補正(台形補正)調整



- 台形補正ボタンを押すと、画面に補正値が表示されます。
- キーストーン補正表示が出ているときに、リモコンまたは本体の戻るボタンを押すと初期値に戻ります。

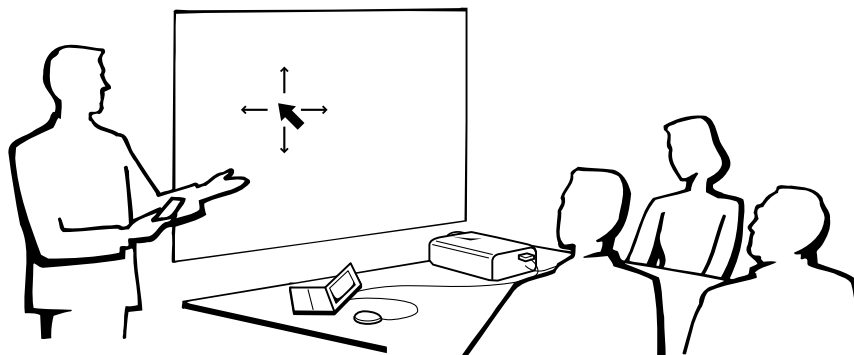


- キーストーン補正調整をメニュー画面で行うこともできます。調整を行う手順は、メニューボタンを押し、「オプション」を選び、さらに「キーストーン補正」を選び、▲または▼ボタンで調整します。

📌 投影のしかた(つづき)

リモコンのワイヤレスマウス機能を使用する

- スクリーンに投影されたコンピュータ画面のマウス操作がリモコンで行えます。



メモ

- ワイヤレスマウス機能は、IBM PS/2 互換機、USB タイプマウス対応のコンピュータで使用できます。

リモートマウスレシーバーを接続する

USB マウスコントロールケーブルを使う

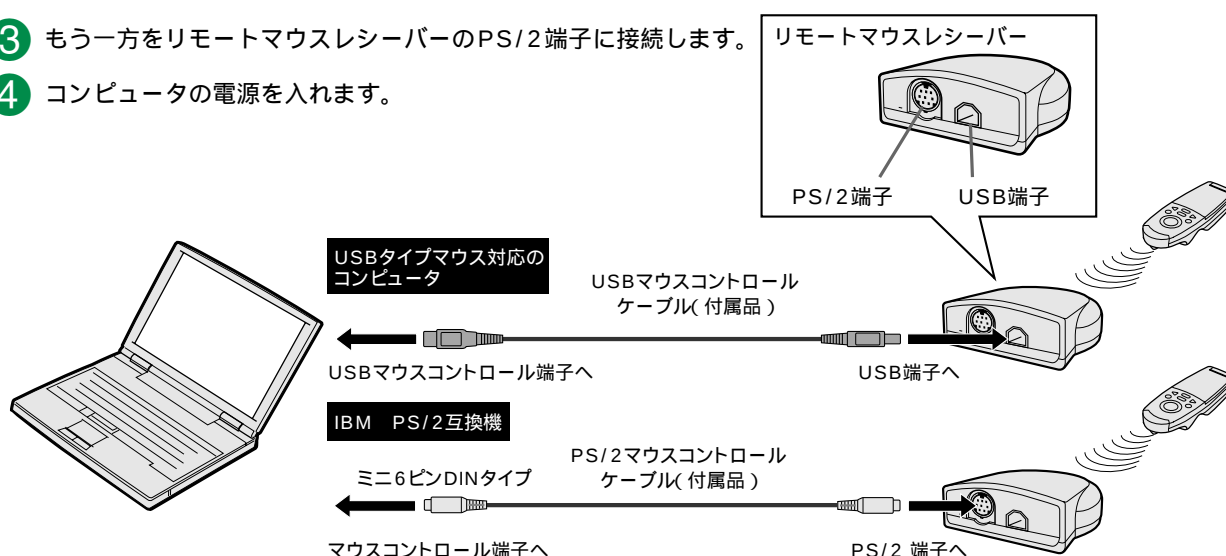
- 1 付属の USB マウスコントロールケーブルの一方をコンピュータの対応する端子に接続します。
- 2 もう一方をリモートマウスレシーバーの USB 端子に接続します。

メモ

- IBM PC/AT 互換のパソコンをお使いで、OS が Windows95 の場合は USB をサポートしていません。
- USB ポートがある Macintosh をお使いで、OS が 8.5 より低い場合は USB をサポートしていません。

PS/2 マウスコントロールケーブルを使う

- 1 コンピュータの電源を切ります。
- 2 付属の PS/2 マウスコントロールケーブルの一方をコンピュータの対応する端子に接続します。
- 3 もう一方をリモートマウスレシーバーの PS/2 端子に接続します。
- 4 コンピュータの電源を入れます。



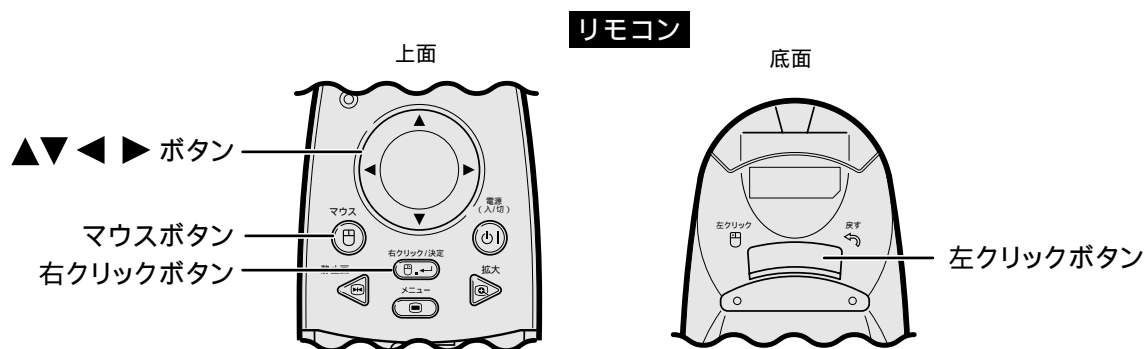
！ 注意

- コンピュータの電源が入っているときには、コンピュータに PS/2 用マウスコントロールケーブルを接続したり、外したりしないでください。コンピュータが破損する恐れがあります。
- リモートマウスレシーバーには、PS/2 マウスコントロールケーブルと、USB マウスコントロールケーブルを同時につながないでください。

ワイヤレスマウスとして使用する

1 マウスボタンを押す

- ワイヤレスマウスモードになり、マウスボタンが約 10 秒間赤く点灯します。
このとき、以下のボタンでマウス操作が行えます。



- 「▲」「▼」「◀」「▶」ボタンでカーソルを移動します。
- 右クリックボタン、左クリックボタンは、それぞれコンピュータの右クリックボタン、左クリックボタンと同じ働きをします。

メモ

- ワイヤレスマウスモードは何も操作せずに約 10 秒間が経過すると、自動的に解除されます。(マウスボタンも消灯します。)
- ワイヤレスマウスモード中にメニューボタンまたは拡大ボタンが押されると、マウスモードは解除されます。
- ワイヤレスマウスが正常に働かない場合は、マウスドライバーの設定を確認してください。シリアルポートの設定やマウスドライバーの設定はコンピュータの操作説明書をご覧ください。
- クリックボタンがひとつのマウス(Macintosh など)の場合は、右クリックボタンと左クリックボタンの両方が同じ働きをします。



メニューの使いかた

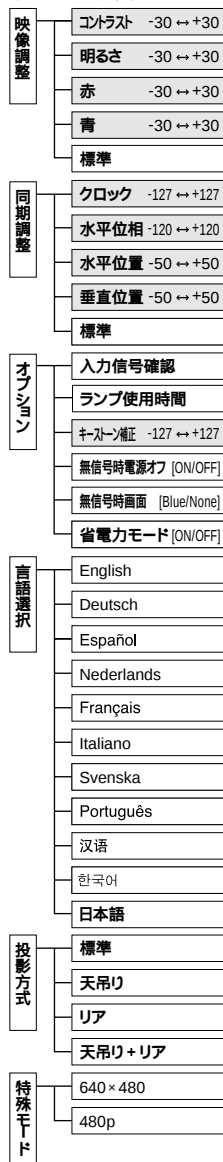
メニュー表示内容一覧

RGB モード(入力 1)

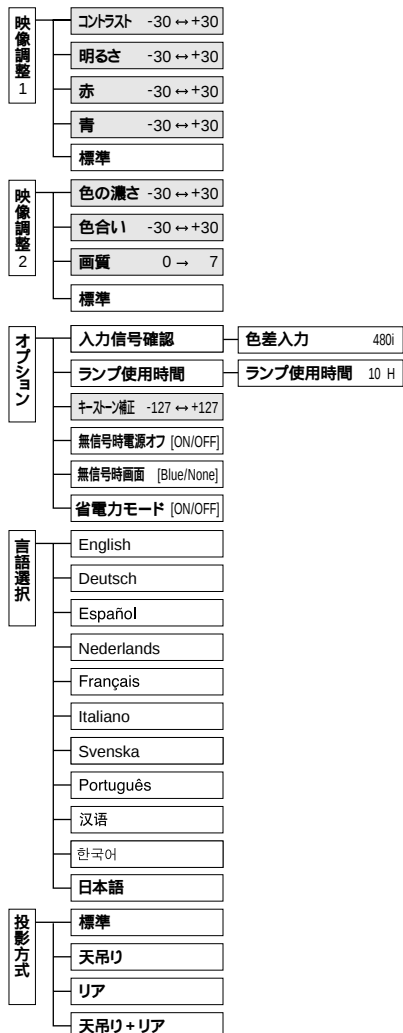
コンポーネントモード(入力 1)

S-ビデオモード(入力 2)
ビデオモード(入力 3)

メインメニュー サブメニュー



メインメニュー サブメニュー



メインメニュー サブメニュー



基本操作

メニューの使いかた



- チャートに示された解像度・垂直周波数・水平周波数の値は例として表示しています。
- チャートで網かけした項目のみが、調整できる項目です。

メニュー項目別の設定調整内容一覧

■ 内の数字は参照ページを示します。

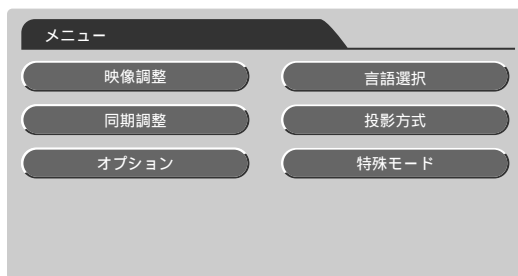
メインメニュー	入力1 RGBのとき	入力1 コンポーネント(色差)/ 入力2 S-ビデオ/入力3 ビデオのとき
映像調整	画像のコントラスト、明るさ、赤/青 36	画像のコントラスト、明るさ、赤/青、 色の濃さ、色あい、画質 38
同期調整	入力1 (RGB入力) のとき調整できます。 手動による同期調整 (画面のノイズなど映り 具合の調整、映像の位置調整) 40	_____
オプション	画面の台形歪み (キーストーン補正) 29 入力信号の確認 43 無信号時電源オフの設定 52 無信号時の画面表示の設定 53 省電力モードの設定 55 ランプ使用時間の表示 56	画面の台形歪み (キーストーン補正) 29 入力信号の確認 43 無信号時電源オフの設定 52 無信号時の画面表示の設定 53 省電力モードの設定 55 ランプ使用時間の表示 56
言語選択	入力表示やメニューで使用する言語の選択 54	入力表示やメニューで使用する言語の選択 54
投影方式	投影方式の切換え (天吊りやミラー設置、透 過型スクリーン使用時などに) 46	投影方式の切換え (天吊りやミラー設置、透 過型スクリーン使用時などに) 46
映像信号方式	_____	入力2 (Sビデオ)/入力3 (ビデオ) モード での映像信号方式 (PAL、SECAM等) の設定 44 (入力1コンポーネント(色差)では項目が ありません。)
特殊モード	特殊モードの切換え 42	_____



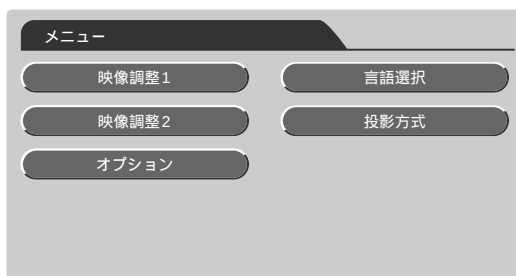
メニューの使いかた(つづき)

- このプロジェクターでは、投影画面の調整やいろいろな設定をメニュー画面を使って行います。

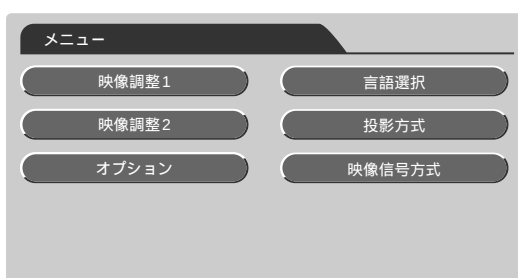
RGBモードのメニュー画面(入力1)



コンポーネントモードのメニュー画面(入力1)

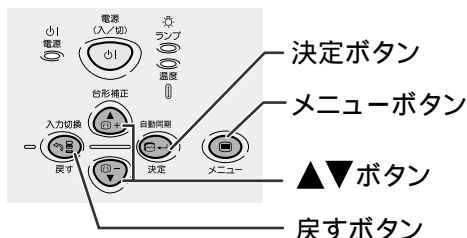


S-ビデオ(入力2)モード・ビデオモード(入力3)のメニュー画面

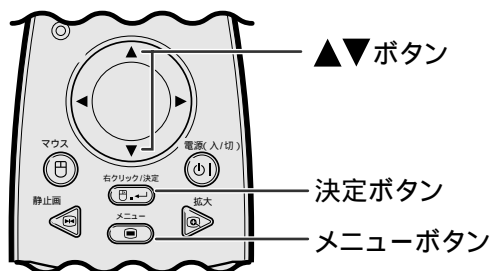


メニューの基本操作

本体操作部

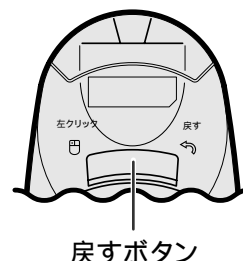


上面



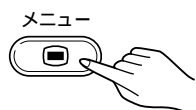
リモコン

底面

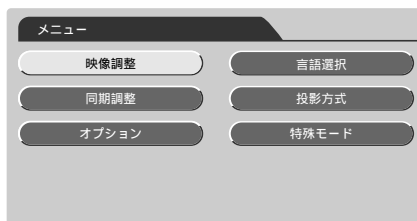


▼表示画面

1 メニューボタンを押す



- 各入力モードに合ったメインメニュー画面が表示されます。

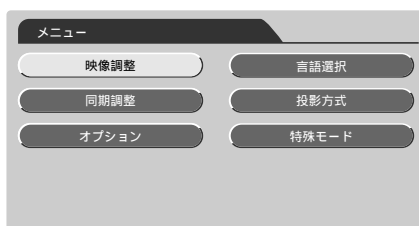
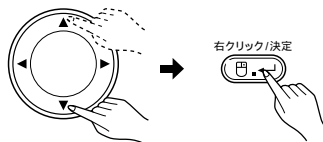


- 左図は入力1(RGB入力)モードの場合の表示画面です。

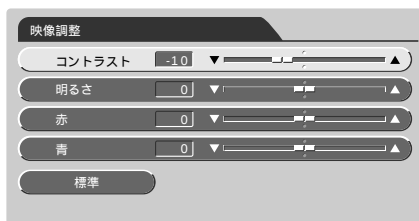
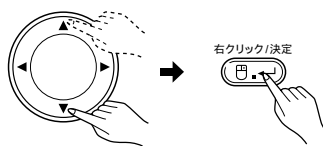
！ 注意

- 映像信号が入力されていないときは、メニュー操作ができません。

- 2 ▲または▼を押して、調整するメニューを選び、**決定ボタン**を押す

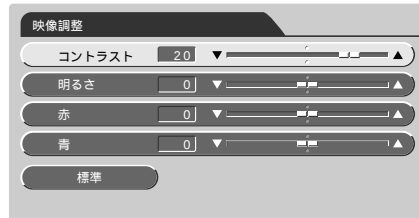
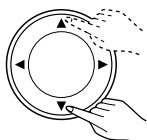


- 3 ▲または▼を押して、調整する項目を選び、**決定ボタン**を押す

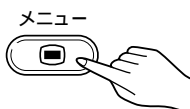


- メニューの項目によっては、サブメニューが表示されます。決定ボタンを押して、サブメニューから調整する項目を選びます。

- 4 ▲または▼を押して、選んだ項目の調整をする



- 5 メニューボタンを押して調整を終了する



手順③や手順④で戻るボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。



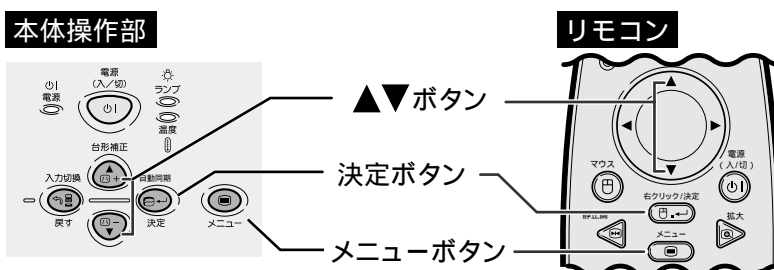
他にも調整したい項目があるときは、手順④で決定ボタンを押します。手順③に戻ります。

映像を調整する

コンピュータの映像を調整する

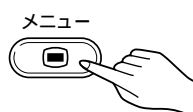
■コンピュータの画面を表示したとき、状態に応じてコントラストや明るさなどを調整できます。

調整項目	状態	▼ボタン	▲ボタン
コントラスト	画像が濃いとき、またうすいとき	うすくなる	濃くなる
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる

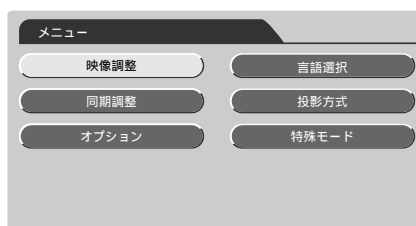


▼表示画面

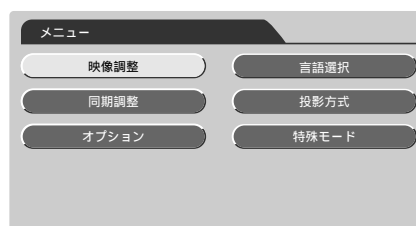
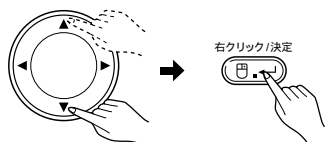
1 メニューボタンを押す



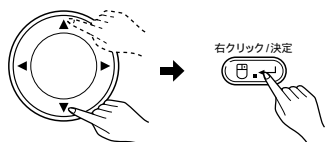
- メインメニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼を押して、「映像調整」を選び、決定ボタンを押す



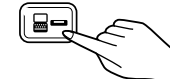
3 ▲または▼を押して、調整したい項目を選び、決定ボタンを押す



映像調整を行うまえに

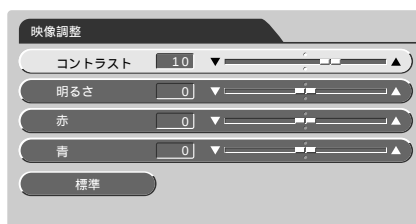
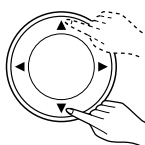
- 入力切替ボタンを押して、「入力 1 (RGB)」を選択し、調整する映像を表示させます。

入力切替



手順③や手順④で戻るボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

4 ▲または▼を押して、映像を調整する



メモ

標準設定に戻したいときは手順③で「標準」を選び、決定ボタンを押します。

- 各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

メモ

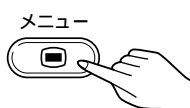
他にも調整したい項目があるときは、手順④で決定ボタンを押します。手順③に戻ります。

メモ

- コンピュータの映像調整は、「入力 1 (RGB 入力)」で調整した内容が記憶されます。

5 メニューボタンを押す

- 表示が消え、調整した内容が記憶されます。

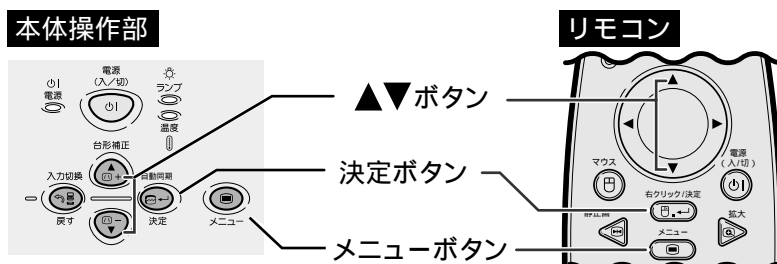


映像を調整する(つづき)

ビデオ、DVDプレーヤーなどの映像を調整する

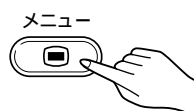
- ビデオやDVD などからの映像の濃淡や明るさを変えて見やすくしたい場合は、状態に応じて調整項目を選び、画像を調整してください。

		状 態	▼ボタン	▲ボタン
映像調整 1	コントラスト	画像が濃いとき、またうすいとき	うすくなる	濃くなる
	明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
	赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
	青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる
映像調整 2	色の濃さ	色が濃いとき、またはうすいとき	うすい色になる	濃い色になる
	色合い	色あいを調整したいとき	紫がかかる	緑がかかる
	画質	画像の輪郭をくっきりさせたいとき、またはやわらかくしたいとき	やわらかくする	くっきりする

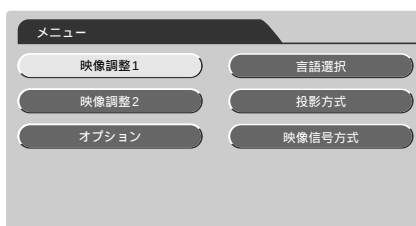


▼ 表示画面

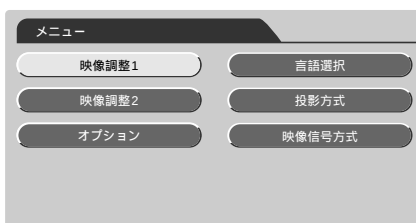
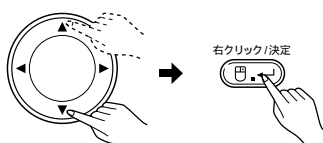
1 メニューボタンを押す



- メインメニュー画面が表示されます。



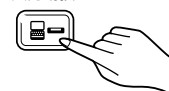
2 ▲または▼を押して、「映像調整 1 または 2」を選び、決定ボタンを押す



映像調整を行うまえに

- 入力切替ボタンを押して、「入力 1(色差入力)」モードまたは「入力 2(S-ビデオ)」・「入力 3(ビデオ)」モードを選択し、調整する映像を表示させます。

入力切替





標準設定に戻したいときは手順③で「標準」を選び、決定ボタンを押します。

- 各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。



- 「入力1(色差入力)」モードまたは「入力2(S-ビデオ)」・「入力3(ビデオ)」モードのそれぞれで調整した内容が別々に記憶されます。

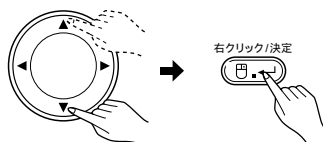


手順③や手順④で戻るボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

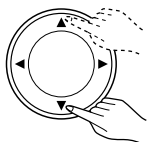


他にも調整したい項目があるときは、手順④で決定ボタンを押します。手順③に戻ります。

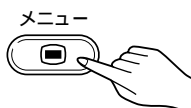
- 3 ▲または▼を押して、調整したい項目を選び、決定ボタンを押す



- 4 ▲または▼を押して、映像を調整する



- 5 メニューボタンを押す
- 表示が消え、調整した内容が記憶されます。



同期調整について

コンピュータの映像を手動で同期調整する

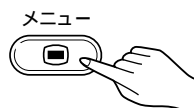
- このプロジェクターでは、コンピュータが接続されている場合、自動的に同期調整を行います。
- 自動同期調整が行われている場合でもタイルパターン・縦縞模様などを投影すると、チラツキ・縦縞が出たりコントラストがつかないなど、映り具合が悪くなることがあります。その場合は、「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」の項目を選び、画面を調整してください。

調整項目	調整内容
クロック	垂直ノイズを調整する
水平位相	水平ノイズを調整する(トラッキング調整)
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させる。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させる。

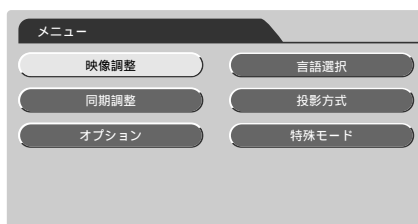


▼表示画面

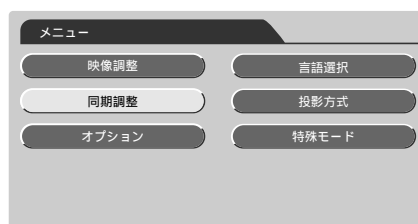
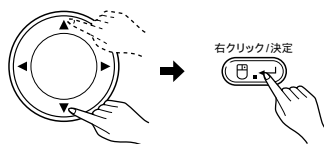
1 メニューボタンを押す



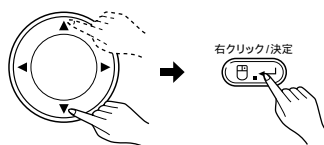
- メインメニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼を押して、「同期調整」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、調整したい項目を選び、決定ボタンを押す



手動同期像調整を行うまえに

- 入力切替ボタンを押して、「入力1(RGB入力)」モードを選択し、調整する映像を表示させます。



標準設定に戻りたいときは手順③で「標準」を選び、決定ボタンを押します。

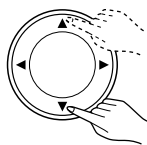
- 各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。



入力される信号によっては調整範囲が狭くなる場合があります。(カーソルの可動範囲が狭くなります。)

- 手順③や手順④で戻るボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

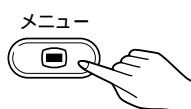
4 ▲または▼を押して、画面を調整する



他にも調整したい項目があるときは、手順④で決定ボタンを押します。手順③に戻ります。

5 メニューボタンを押す

- 表示が消え、調整した内容が記憶されます。



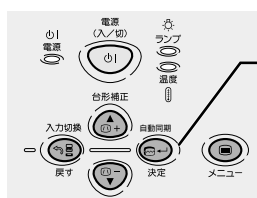
自動同期調整について

- コンピュータの画面が最善になるよう自動的に同期調整を行います。
- プロジェクターにコンピュータが接続された状態で、プロジェクターの入力を切り換えたときに、自動で同期調整ができなかったときは、「自動同期」調整ボタンを押して、同期調整をします。
- 自動同期調整で良好な画面が得られないときは、手動で調整してください。(40ページをご覧ください。)



- 自動同期調整中は、「同期調整中」と画面に表示されます。
- プロジェクターに接続されたコンピュータの画面によっては、自動同期調整を完了するまで、しばらく時間がかかることがあります。

本体操作部



リモコン

(リモコンふた内)



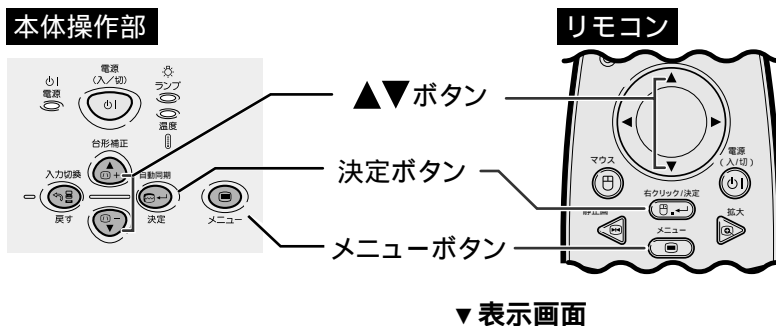
自動同期
調整ボタン



同期調整について(つづき)

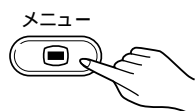
特殊モード調整

- 通常、入力信号の種類が判別されると、自動的に正しい解像度モードが選択されますが、信号の種類によっては、メニュー画面で「特殊モード」を選び、コンピュータの表示モードに合わせる設定を行う必要があります。

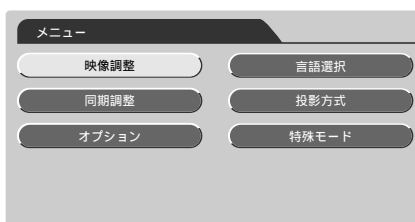


▼ 表示画面

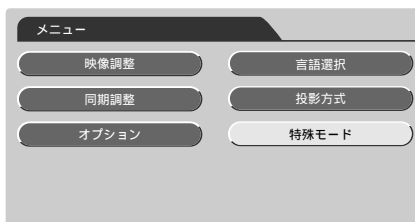
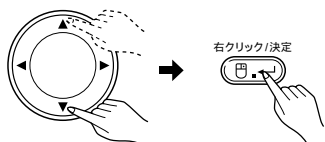
1 メニューボタンを押す



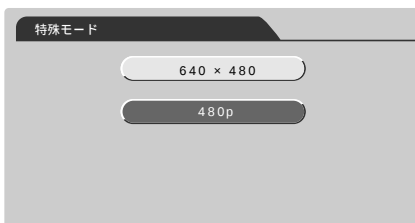
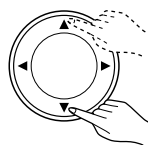
- メインメニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼を押して、「特殊モード」を選び、決定ボタンを押す



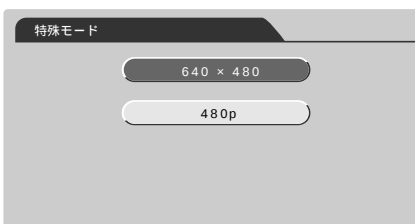
3 ▲または▼を押して、最適な解像度モードを選ぶ



4 決定ボタンを押して、設定する



- 自動的にメニュー画面が終了します。



メモ

- コンピュータの一行おきに繰り返されるパターン（水平方向の縞模様）を表示させないでください。（チラツキがおこり、画面が見にくくなります。）
- 480pのRGB信号を入力しているときは、③で480pが表示されますので、選択してください。

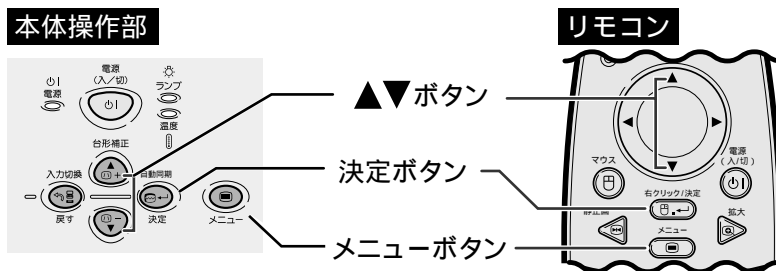
メモ

- 手順③で戻るボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。



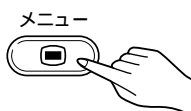
入力信号を確認する

- この機能を使って、現在入力されている信号を確認することができます。

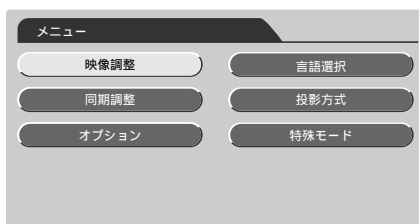


▼ 表示画面

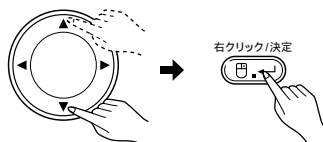
1 メニューボタンを押す



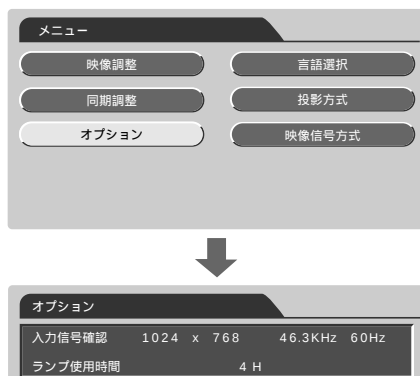
- メインメニュー画面が表示されます。



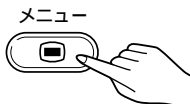
2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、決定ボタンを押す



- 入力信号の内容が表示されます。



3 メニューボタンを押して終了する

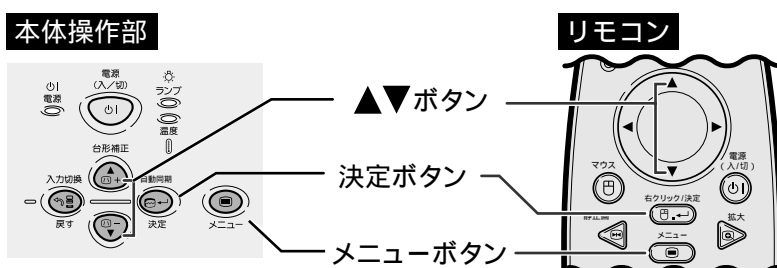


- 手順②で戻るボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。
- 本機に525iのコンポーネント(色差)信号を入力したとき本機の表示は480iとなります。

再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する

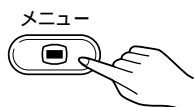
- 映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されていますが、選択されている映像方式で、入力2や入力3に接続したAV機器の映像が再生できなかった場合は、映像信号方式を切り換えてください。

選 択 項 目	項 目 内 容
自動	接続するAV機器によって、映像信号方式を自動的に切り換える
PAL	PAL方式の映像機器を接続したとき
NTSC 3.58	NTSC方式の映像機器を接続したとき
SECAM	SECAM方式の映像機器を接続したとき
NTSC 4.43	PAL方式の機器でNTSC方式の映像を再生したとき
PAL M	PAL M方式の映像機器を接続したとき
PAL N	PAL N方式の映像機器を接続したとき
PAL(60Hz)	PAL(60Hz)方式の映像機器を接続したとき

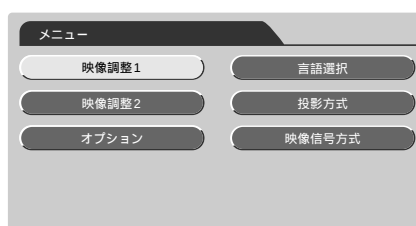


▼ 表示画面

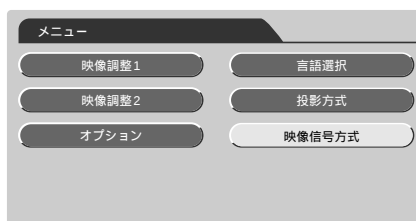
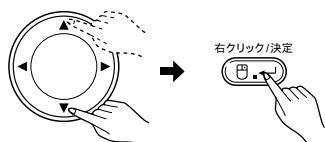
1 メニューボタンを押す



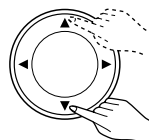
- メインメニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼を押して、「映像信号方式」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、設定したいビデオ入力モードを選ぶ



映像信号方式を設定するまえに

- 入力切替ボタンを押してAV機器を接続している「入力2(S-ビデオ)」または「入力3(ビデオ)」を選択します。



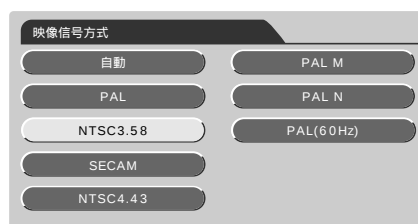
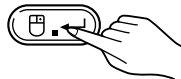
- 映像信号方式が「自動」に設定されている場合は、信号の違いによって鮮明な映像が得られない場合があります。その場合は、ご覧のビデオシステムに切り換えてください。



- 手順③や手順④で戻るボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

4 決定ボタンを押して、設定する

右クリック/決定

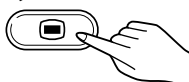


- 「自動」を選んだときは、自動的にメニュー画面が終了します。

5 メニューボタンを押す

- 表示が消え、調整した内容が記憶されます。

メニュー





映像の左右反転 / 上下反転のしかた

- このプロジェクターは投影された映像を左右反転・上下反転することができ、設置状況に合わせた投影方式が設定できます。

標準



通常映像

天吊り



上下反転された映像

リア



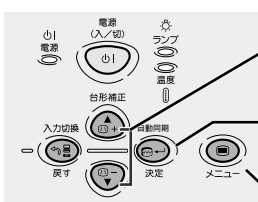
左右反転された映像

天吊り + リア



下 / 左右反転された映像

本体操作部

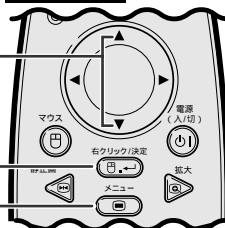


リモコン

▲▼ボタン

決定ボタン

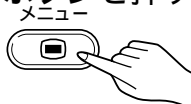
メニューボタン



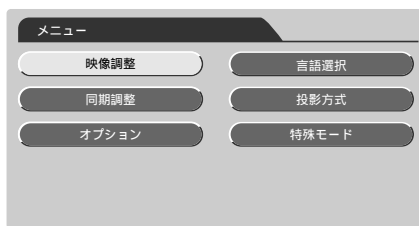
▼表示画面

1

メニューボタンを押す

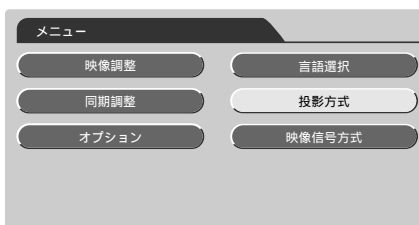
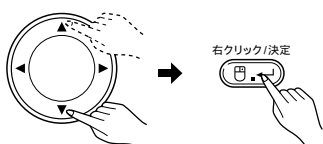


- メインメニュー画面が表示されます。



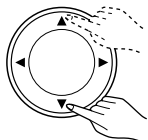
2

▲または▼を押して、「投影方式」を選び、決定ボタンを押す



3

▲または▼を押して、投影方式を選ぶ



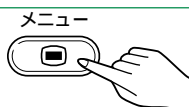
4

決定ボタンを押して、設定する



5

メニューボタンを押して終了する

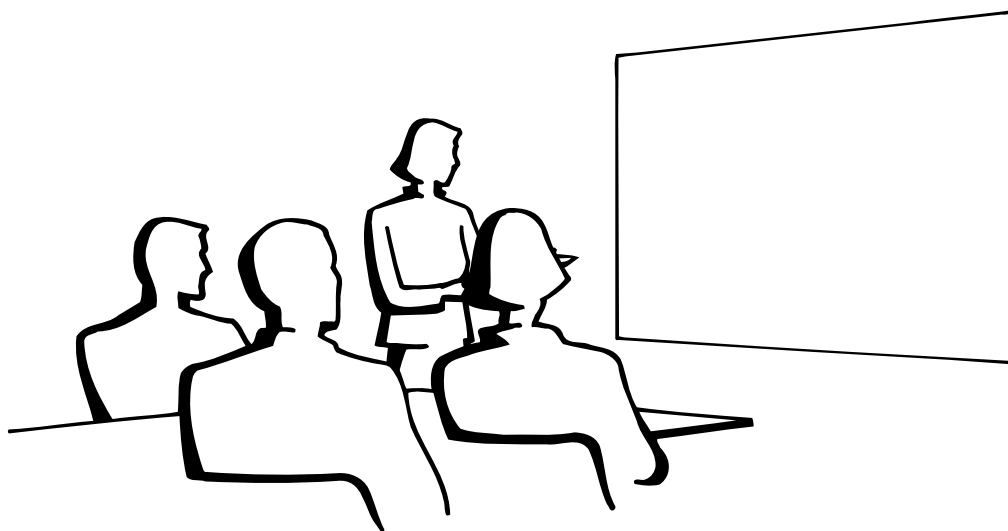


メモ

手順③や手順④で戻るボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。



便利な機能を使う

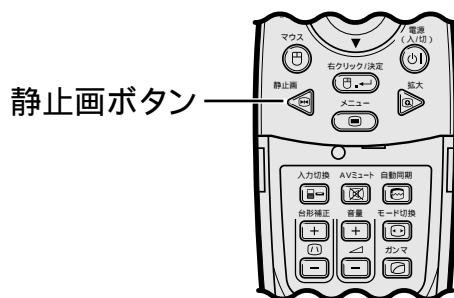




静止画機能

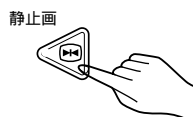
- 静止画機能を使うと、瞬時に動画を静止画としてメモリーすることができます。

リモコン



▼ 表示画面

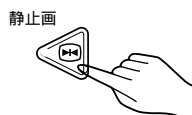
1 静止画ボタンを押す



- 画像が静止画としてメモリーされます。



2 静止画を解除するときは、静止画ボタンを再度押す



- 接続している機器の現在の映像に戻ります。



メモ

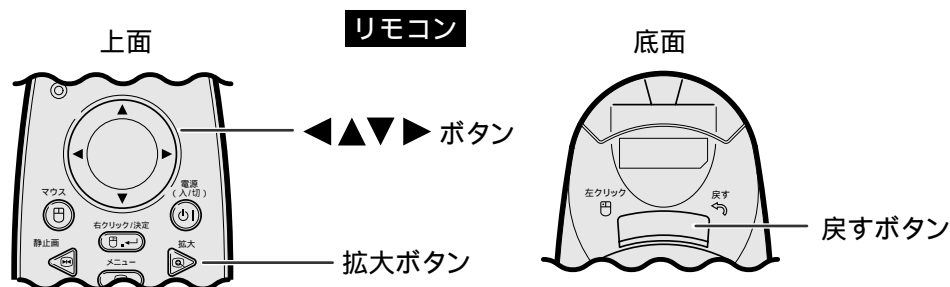
- 次の場合、静止画は解除されます。
 - ・ 入力切換ボタンを押して入力切換を行ったとき
 - ・ 入力信号が変更されたとき
 - ・ 解像度とリフレッシュレート(垂直周波数)が変更されたとき





映像をデジタル拡大する

- この機能を使うと、投影された映像の一部を拡大することができます。映像の一部の詳細を表示したいときに便利です。



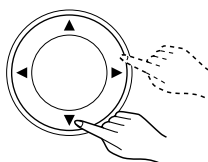
1 拡大ボタンを押す



- 拡大ボタンを押す度に映像は下記のように拡大されます。

→ ×1 → ×2 → ×3 → ×4 → ×6 → ×8

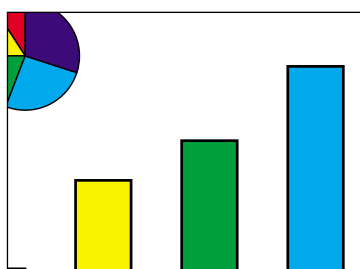
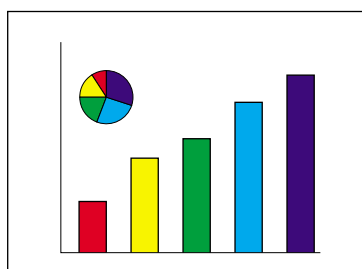
- 映像を拡大したあと、「▲」「▼」「◀」「▶」ボタンを使って見たい位置を変えることができます。



表示画面

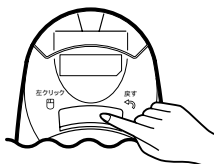
標準

拡大



- つぎの場合、拡大された映像が元の大きさ(×1)に戻ります。
 - ・入力切替ボタンを押して入力切替を行ったとき
 - ・入力信号が変更されたとき
 - ・解像度とリフレッシュレート(垂直周波数)が変更されたとき

2 標準映像に戻るときは、リモコンの戻るボタンを押す



ガンマ補正

- 映画やコンサートなど暗いシーンの多い映像を見たり、明るい部屋で映像を見たりする場合は、この機能を使うと、暗いシーンを明るくするなど、より見やすい映像が楽しめます。

選 択 項 目	適 した 映 像	補 正 内 容
標準	—	高コントラストと色再現性を重視した鮮鋭映像ポジション
ガンマ1	テレビ	明るい部屋での視聴に適したポジション
ガンマ2	映画など	コントラストとギラツキを抑え、しっとりとした映像を再現するポジション

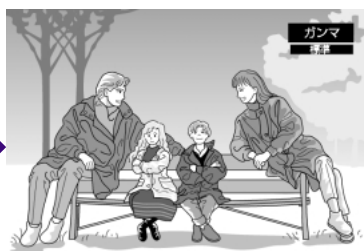


1 ガンマ補正ボタンを押す

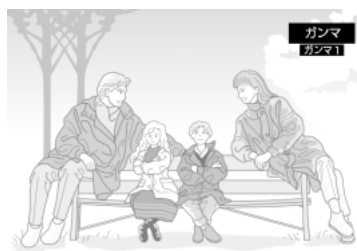


- ガンマ補正ボタンを押す度にガンマレベルが下画面のように変わります。

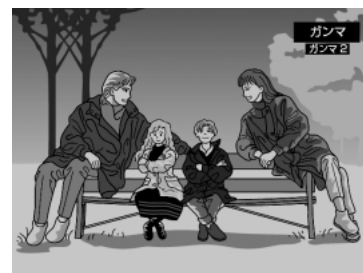
表示画面



標準



ガンマ 1



ガンマ 2



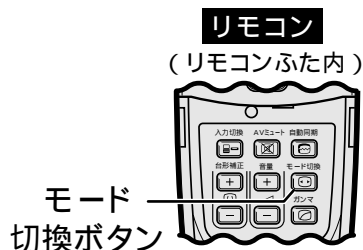


画像表示モードを選ぶ

- 入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを修正したり、カスタマイズすることができます。入力信号の種類によって、「ズーム」・「スクイーズ(フル)」・「ノーマル」・「ドットバイドット」を選んでください。

1 モード切換ボタンを押す

- モード切換ボタンを押す度に、画像表示モードは下記のように変わります。



本機に表示される入力信号は、有効走査線数が表示されます。くわしくは、42ページをご覧ください。

コンピュータ

		ノーマル	ドットバイドット
4:3	SVGA (800 × 600)	1024 × 768	800 × 600
	XGA (1024 × 768)	1024 × 768	-
その他	SXGA (1280 × 1024)	1024 × 768	1280 × 1024

	入力信号	表示イメージ	
		ノーマル	ドットバイドット
VGA SVGA XGA			
SXGA			

XGA (1024 × 768) の信号を入力したときは、ノーマルに固定されます。

DVD/デジタルビデオ

	ズーム	スクイーズ(フル)	ノーマル
4:3	1024 × 768	1024 × 576	769 × 576
レターボックス	1024 × 768	1024 × 576	769 × 576
スクイーズ	-	1024 × 576	769 × 576

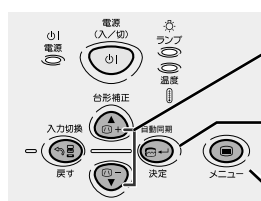
	入力信号	表示イメージ		
		ズーム	スクイーズ(フル)	ノーマル
4:3の縦横比のDVD / デジタルビデオプレーヤー / RGB信号				
レターボックスサイズのDVD / デジタルビデオプレーヤー / RGB信号				
スクイーズサイズのDVD / デジタルビデオプレーヤー / RGB信号				



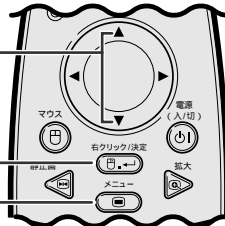
無信号時電源オフモードを選ぶ

- この機能を使うと、プロジェクターに信号が入力されていない状態が 15 分間続いた場合、自動的に電源を切ることができます。

本体操作部



リモコン



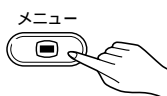
▲▼ボタン

決定ボタン

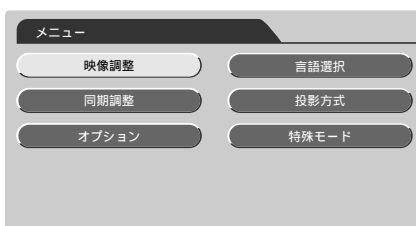
メニューボタン

▼表示画面

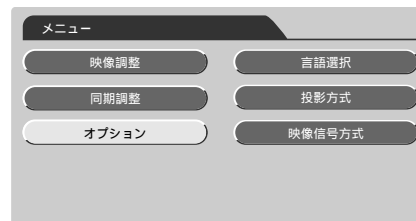
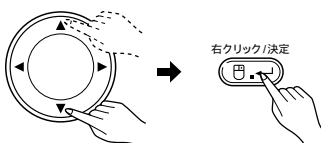
1 メニューボタンを押す



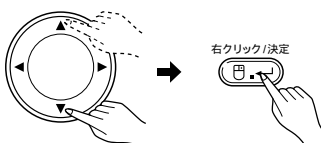
- メインメニュー画面が表示されます。



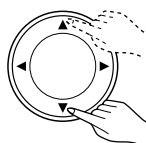
2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、「無信号時電源オフ」を選び、決定ボタンを押す

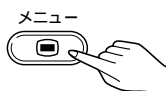


4 ▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



5 メニューボタンを押す

- 表示が消え、設定した内容が記憶されます。



メモ

- 自動電源オフ機能が「ON」のとき、15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に電源を切ります。5分になると「電源オフ○分前」の表示がでます。

メモ

- 手順③や手順④で戻るボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

メモ

- 他にも調整したい項目があるときは、手順④で決定ボタンを押します。手順③に戻ります。

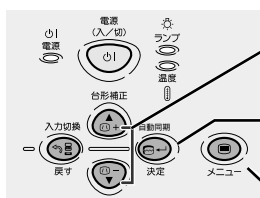


無信号時に表示する画面を設定する

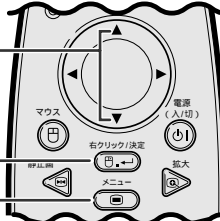
- この機能を使って、プロジェクターに信号が送られていないとき、表示する画面を選びます。

選 択 項 目	無信号時画面
Blue	青い画面
None	黒い画面

本体操作部



リモコン



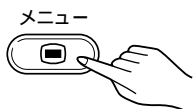
▲▼ボタン

決定ボタン

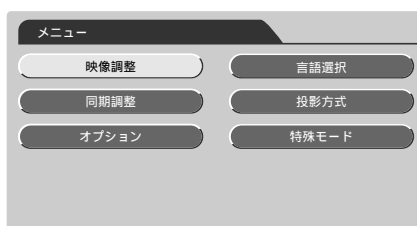
メニューボタン

▼表示画面

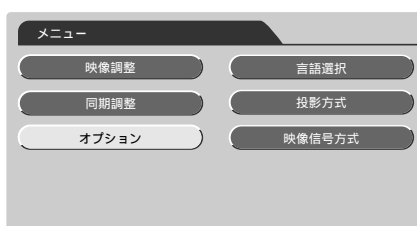
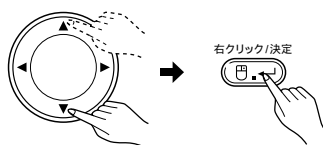
1 メニューボタンを押す



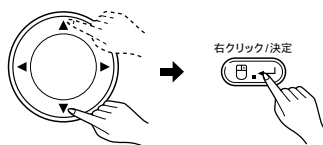
- メインメニュー画面が表示されます。



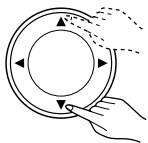
2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、決定ボタンを押す



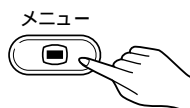
3 ▲または▼を押して、「無信号時画面」を選び、決定ボタンを押す



4 ▲または▼を押して、無信号時、スクリーンに表示したい画面を選ぶ(Blue、またはNone)



5 メニューボタンを押して終了する。



- BLUE(青い画面)は4:3のフル表示になります。



- 手順③や手順④で戻るボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

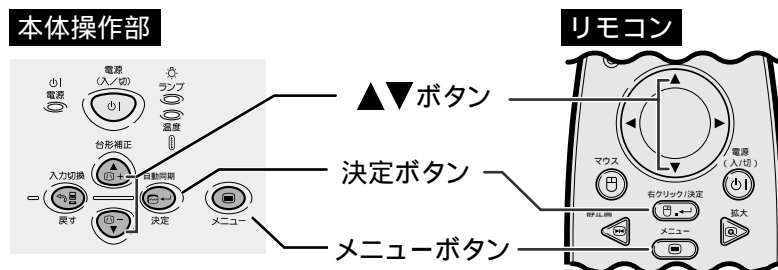


- 他にも調整したい項目があるときは、手順④で決定ボタンを押します。手順③に戻ります。



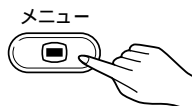
画面表示言語を選ぶ

- 表示画面の言語として、工場出荷時、日本語が設定されています。英語・ドイツ語・スペイン語・オランダ語・フランス語・イタリア語・スウェーデン語・ポルトガル語・中国語・韓国語・日本語に切り換えることができます。

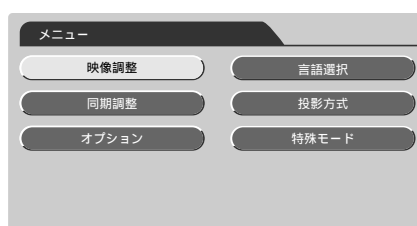


▼ 表示画面

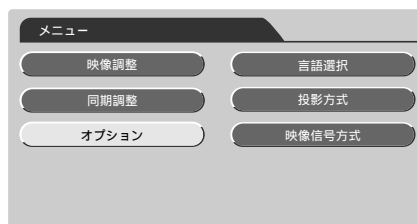
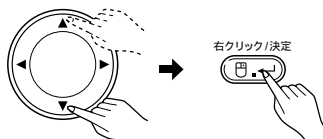
1 メニューボタンを押す



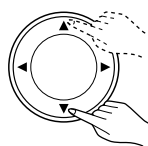
- メインメニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼を押して、「言語選択」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、表示したい言語を選ぶ



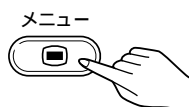
4 決定ボタンを押して、設定する



- 表示画面が選択された言語で表示されます。



5 メニューボタンを押して終了する



メモ

- 左の例は、日本語から英語に切替える例です。

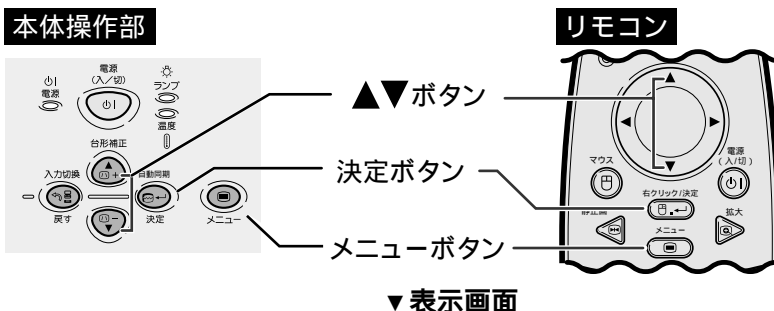
メモ

- 手順③で戻るボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

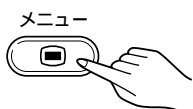


省電力モードの切り換えかた

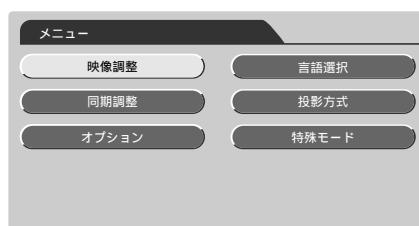
- 消費電力低減のため、投射される光の量を2段階に切り換えることができます。画面の明るさを見ながら設定してください。



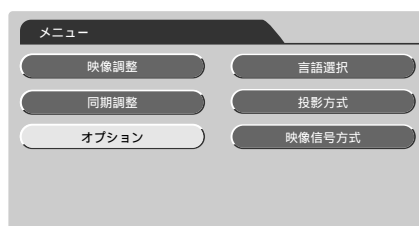
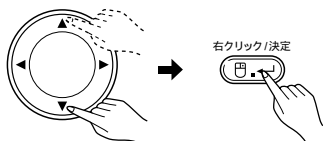
1 メニューボタンを押す



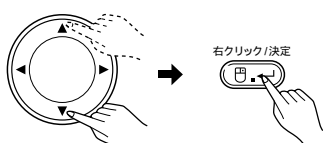
- メインメニュー画面が表示されます。



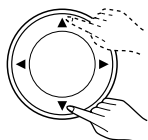
2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、決定ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、「省電力モード」を選び、決定ボタンを押します。

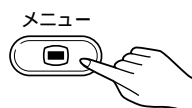


4 ▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選ぶ



5 メニューボタンを押して終了する

- 表示が消え、設定した内容が記憶されます。



省電力モード

OFF・・・光の量が100%です。

ON・・・光の量が「OFF」に対して70%の状態になり、消費電力が低減します。

- 省電力モードを「OFF」にすると冷却ファンの回転が早まり、ファン音が大きくなります。

- 省電力モード「ON」時でも内部温度が上昇すると冷却のため、冷却ファンの回転が早まってファンの音が大きくなります。



手順③や手順④で戻るボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。



他にも調整したい項目があるときは、決定ボタンを押します。手順③に戻ります。

省電力のモード切り換えかた

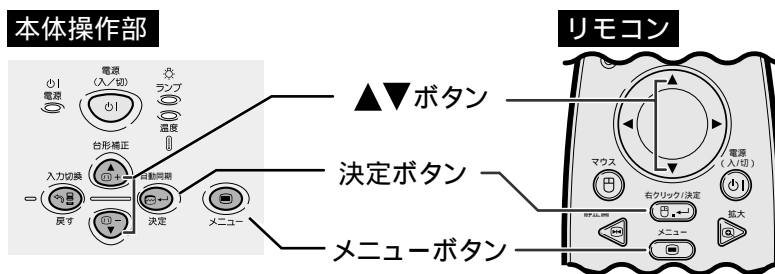
便利な機能を使う





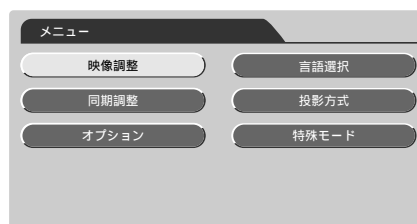
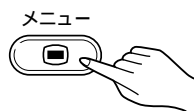
ランプ(光源)の使用時間を確認する

- この機能を使って、ランプ(光源)の総使用時間を確認することができます。

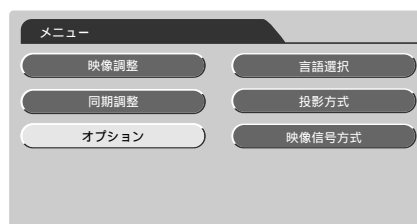
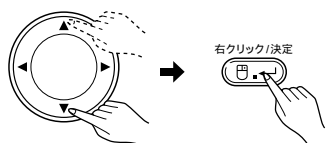


▼ 表示画面

メニューボタンを押す

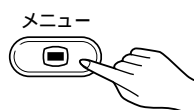


▲または▼を押して、「オプション」を選び、決定ボタンを押す



- ランプ(光源)の使用時間が表示されます。

メニューボタンを押して終了する



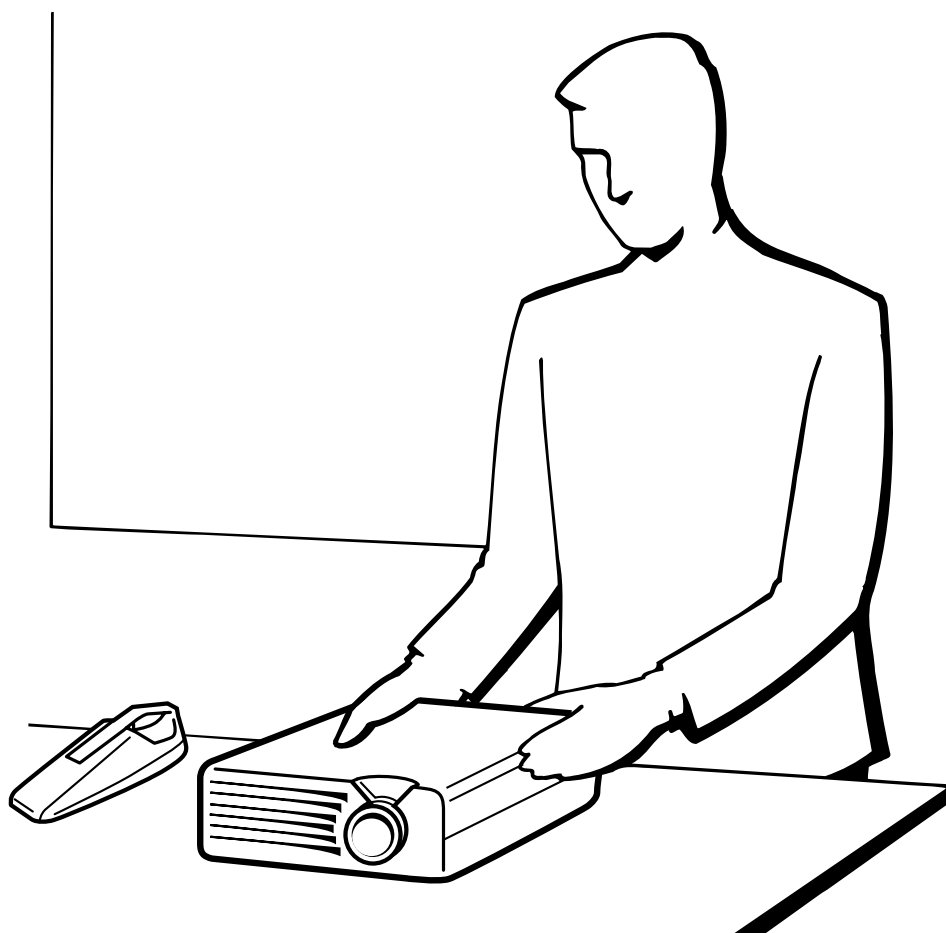
メモ

- ランプ(光源)は約900時間の使用で交換することをおすすめします。ランプの交換は、お買い上げの販売店またはもよりのシャープお客様相談窓口(70ページ)にお問い合わせください。





正しくお使いいただくために





お知らせ表示 / ランプ(光源)について

お知らせ表示について

- 本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。
- お知らせ表示には温度モニターお知らせ表示とランプ交換お知らせ表示があります。
- 内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニターお知らせ表示もしくはランプ交換お知らせ表示が赤色に点灯し電源が切れます。以下の処置を行ってください。

温度モニター機能について

設置状況やエアフィルターが目づまり等により内部温度が高温になると、画面左下に“温度”が表示されます。さらに温度が上昇すると、ランプ(光源)が消灯し温度モニターお知らせ表示が点滅、90秒のファン冷却後電源が切れます。“温度”の表示が出た時点で下の表の内容に従い処置をしてください。

温度

ランプ交換お知らせ機能について

- ランプの総使用時間が900時間を越えると、画面に黄色で“ランプ”が表示され、1000時間になると“ランプ”表示が赤になり、自動的にランプ(光源)が消灯し、電源が切れます。このとき、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯します。
- ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。

ランプ



お知らせ表示			現 象	考えられる原因	処置のしかた
温度モニター お知らせ表示	正 常	異 常	内部温度が高温になっている。	●通風孔がふさがれている。	●正しい設置場所に設置してください。
	消 灯	赤色点灯 電源・切		●エアフィルターのめづまり	●60ページの手順に従ってフィルターの手入れをしてください。
				●冷却ファンの故障 ●内部回路の故障	●販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口に修理を依頼してください。
				●冷却中	●消灯するまでお待ちください。
ランプ交換 お知らせ表示	緑色点灯 （緑色点滅は） （光源起動中）	赤色点灯 電源・切	ランプ(光源)が 点灯しない	●ランプ(光源)が切れた ●ランプ(光源)点灯回路故障	●ランプ(光源)の交換を販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（70ページ）にお問い合わせください。 ●販売店に修理またはランプの交換を依頼してください。
電源表示	赤/緑色点灯	赤色点滅	ランプ（光源）が 点灯しない	●エアフィルターカバーが外れている	●62ページの を行い、フィルターカバーを確実に取り付けてください。

！ 注意

- 温度モニターお知らせ表示が点灯し、電源が切れ、上記の処置を行った後、再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。(約5分以上)
- 一般の停電などで、電源が切れた直後に電源が入った場合、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯し電源が入らなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。
- プロジェクターの動作中にエアフィルターの掃除または交換を行う場合は、電源ボタンを押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。
- 電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約90秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。



ランプ（光源）について

- 光源として使われているランプは消耗品です。ランプの平均寿命は、のべ使用時間が約 1,000 時間です。900 時間を越えたら、なるべく早めに新しい光源ランプ（別売）と交換してください。900 時間を越えなくても使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりした場合は、早めに新しい光源ランプと交換してください。ランプの総使用時間は画面表示で確認できます。（56 ページ参照）
- ランプ（光源）の保証期間は、6 ヶ月 1000 時間以内です。6 ヶ月以内でも 1000 時間を超えたり、1000 時間以内でも 6 ヶ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。
- 光源ランプ（別売）は、シャープエンジニアリング（株）の製品です。
- 光源ランプの取り替えは、お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（70 ページ）にお問い合わせください。

 **注意** ■ ランプ（光源）の光は有害です。プロジェクターを操作しているときは、プロジェクターの部品やレンズをのぞきこまないでください。

 ■ プロジェクターの使用環境によっては、ランプの寿命が 1,000 時間以下になることがあります。

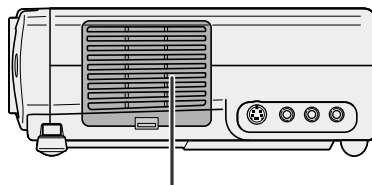


お手入れのしかた

エアーフィルターのお手入れのしかた

- エアーフィルターは、約 100 時間使用を目安に掃除を行ってください。特にほこりの多いところでは、こまめに掃除を行うようにしてください。掃除を行ってもほこりが落ちなくなりましたら、付属のエアーフィルターと交換してください。(62 ページ)

本体左側面

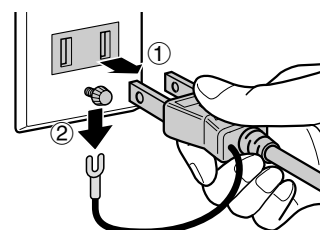


エアーフィルター部

エアーフィルターの掃除

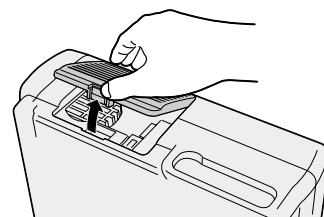
1 電源プラグをコンセントから抜く

- アース線の取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



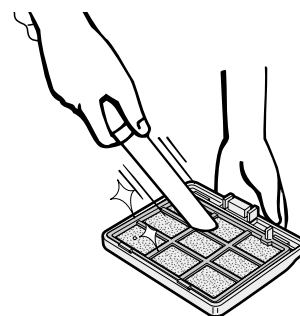
2 フィルターカバーを外す

- 矢印の方向にフィルターカバーの爪を押しながら上に引いて、取り外します。



3 エアーフィルターを掃除する

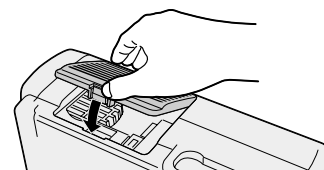
掃除機でエアーフィルターおよびフィルターカバーのほこりを吸い取ります。



4 フィルターカバーを取り付ける

フィルターカバーの 2 つの爪を本体側の溝にさし込み、閉じます。

フィルターカバーは確実に取り付けてください。確実に取り付けないと電源が入りません。電源を入れようとしたとき、電源表示が赤で点滅します。



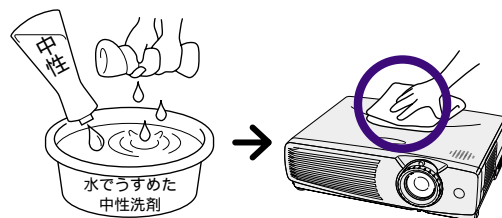
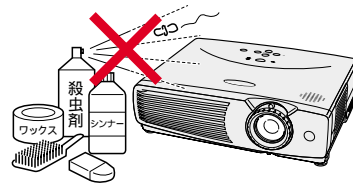
！ 注意

- プロジェクターの動作中にエアーフィルターの掃除を行う場合は、電源ボタンを押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。
- 電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約 90 秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。



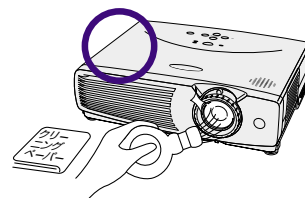
キャビネットの手入れのしかた

- キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。
- キャビネットや操作パネル部分はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
- 殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。
プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。
- 汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



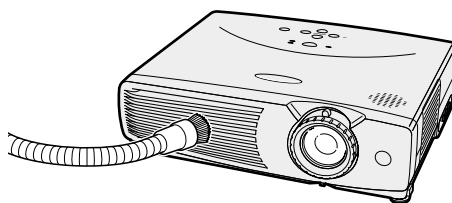
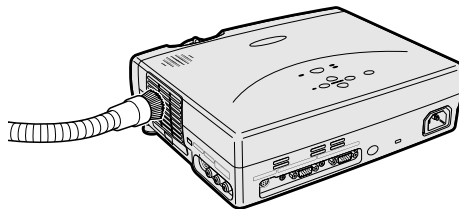
レンズの手入れのしかた

- レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。
- 表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。



冷却ファンのフィルターの手入れのしかた

- 冷却ファンのフィルターの清掃は、掃除機でゴミ、ホコリを吸い取って行ってください。





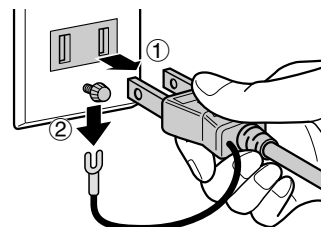
お手入れのしかた(つづき)

エアーフィルターの交換のしかた

- エアーフィルターのお手入れ(60 ページ)を行ってもほこりが落ちなくなりましたら、フィルターの交換時期です。付属のエアーフィルターと交換してください。
- フィルターカバーは、確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、電源が入らないようになっています。電源を入れようとしたときに、電源表示が赤で点滅します。

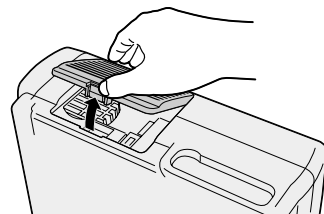
1 電源プラグをコンセントから抜く

- アース線の取り外しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後、行ってください。



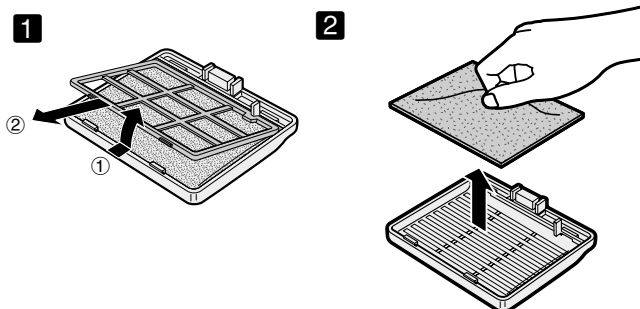
2 フィルターカバーを外す

- 矢印の方向にフィルターカバーの爪を押しながら上に引いて、取り外します。



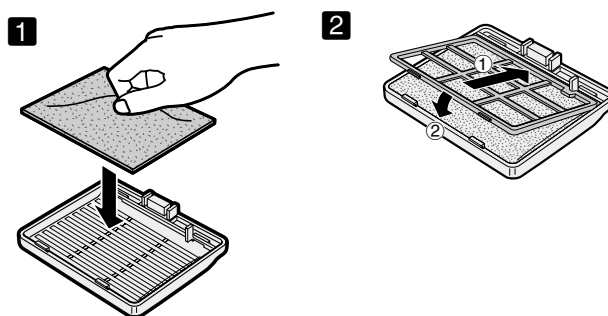
3 エアーフィルターを外す

- 1 フィルター押さえを外します。
- 2 エアーフィルターを外します。



4 新しいエアーフィルターを取り付ける

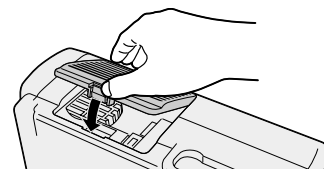
- 1 新しいエアーフィルターを取り付けます。
- 2 フィルター押さえを元どおりに取り付けます。



5 フィルターカバーを取り付ける

フィルターカバーの2つの爪を本体側の溝にさし込み、閉じます。

- フィルターカバーは、確実に取り付けてください。確実に取り付けないと、電源が入らないようになっています。電源を入れようとしたときに、電源表示が赤で点滅します。



！ 注意

- プロジェクターの動作中にエアーフィルターの交換を行う場合は、電源ボタンを押して電源を切った後、冷却ファンが止まるのを待ってから行ってください。
- 電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約 90 秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。

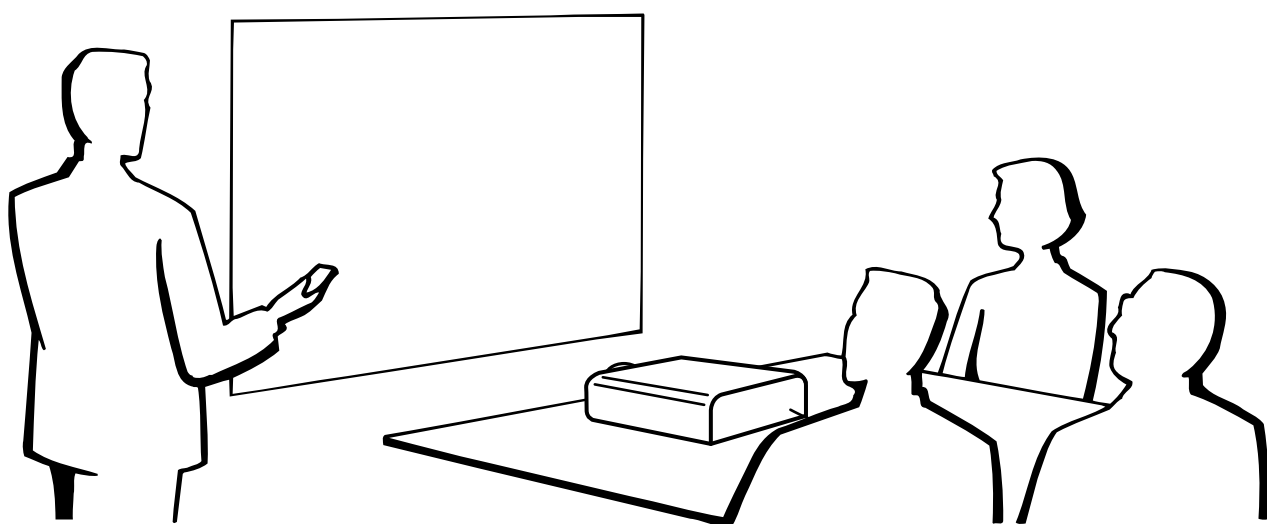
メモ

- エアーフィルターをご購入の際は、販売店またはシャープお客様ご相談窓口(70 ページ)にお問い合わせください。





付録

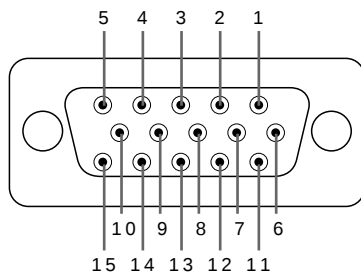




本体のコネクタのピン配置

コンピュータRGB入力端子(入力1)、コンピュータRGBモニター出力端子(OUT)

15ピンミニD-subコネクタ(メス)



●RGB入力/出力

ピン番号	信号名
1.	映像入力(赤)
2.	映像入力(緑)
3.	映像入力(青)
4.	NC
5.	複合同期信号
6.	接地(映像赤)
7.	接地(映像緑)

ピン番号	信号名
8.	接地(映像青)
9.	NC
10.	接地
11.	NC
12.	データ
13.	水平同期信号(複合同期信号)
14.	垂直同期信号
15.	クロック

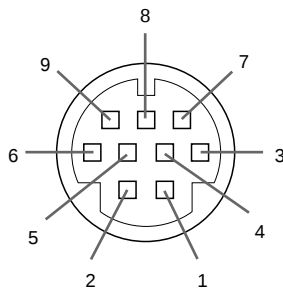
●コンポーネント入力/出力

ピン番号	信号名
1.	映像入力 CR
2.	映像入力 Y
3.	映像入力 CB
4.	NC
5.	NC
6.	接地(CR)
7.	接地(Y)

ピン番号	信号名
8.	接地(CB)
9.	NC
10.	NC
11.	NC
12.	NC
13.	NC
14.	NC
15.	NC

PCコントロール端子

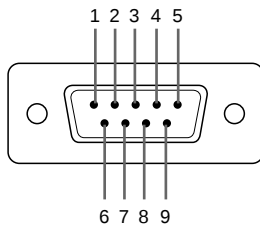
9ピンミニDINコネクタ(メス)



ピン番号	信号	信号名	I/O
1			
2	RD	受信データ	入力
3	SD	送信データ	出力
4			
5	SG	接地	
6			
7			
8			
9			

PCコントロールケーブル: RS-232Cコネクタ(同梱のDIN - D-sub RS-232Cケーブル)

9ピンD-subコネクタ(オス)



ピン番号	信号	信号名	I/O
1			
2	RD	受信データ	入力
3	SD	送信データ	出力
4			
5	SG	接地	
6			
7			
8			
9			





RS-232C ポート仕様

コンピュータによるプロジェクターの制御について

この操作システムはコンピュータを使い慣れた方のご利用をお願いいたします。

- プログラムを組むとRS-232Cコネクタを使って、コンピュータで本機を制御することができます。入力信号(コンピュータ/ビデオ)の切り換えや音量調節のほか、各種調整や設定も制御できますので、プログラムによる自動上映が可能です。
- 接続には、市販のRS-232Cケーブル(クロス・メス-メスタイプ)をご用意ください。

通信仕様

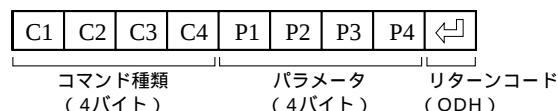
- コンピュータ側のRS-232C通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
- 本機の仕様は、以下のとおりです。

ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

通信手順

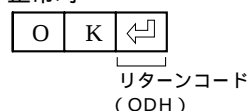
- コンピュータからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて、動作し、レスポンスメッセージをコンピュータ側に送ります。
- 複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時のレスポンス(OK)を受け取ってから、次のコマンドを送信するようにしてください。

コマンド(コンピュータ→本機)

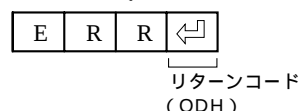


レスポンス(本機→コンピュータ)

正常時



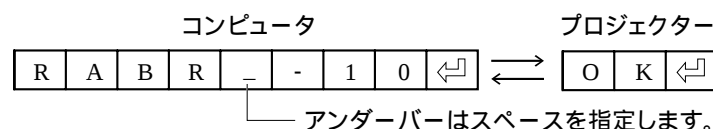
異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったときや、範囲外の数値を指定したとき)



- プロジェクターのコンピュータ制御機能を使用するとき、プロジェクターの動作状況をコンピュータに読ませることはできません。

受送信の例

- 「入力1(色差入力)」モードの「映像調整」の「明るさ」を-10に設定する。





RS-232Cポート仕様(つづき)

コマンド一覧

■ "パラメータ"の中でダッシュ(_)で表記されている箇所はスペースを指定します。アスタリスク(*)で表記されている箇所は「制御内容」の()内の中の範囲で数値を指定します。

制御項目	コマンド				パラメータ				制御内容
	C1	C2	C3	C4	P1	P2	P3	P4	
無信号時電源オフ ON/OFF	A	P	O	W	_	_	_	0	無信号時電源・OFF
	A	P	O	W	_	_	_	1	無信号時電源・ON
電源・ON/OFF	P	O	W	R	_	_	_	0	電源・OFF (待機状態)
	P	O	W	R	_	_	_	1	電源・ON
入力切り換え	I	V	E	D	_	_	_	1	Sビデオ
	I	V	E	D	_	_	_	2	ビデオ
	I	R	G	B	_	_	_	1	入力1 (RGB)
	I	R	G	B	_	_	_	2	入力1 (色差)
入力確認	I	C	H	K	_	_	_	0	入力確認表示
台形補正調整	K	E	Y	S	*	*	*	*	台形補正 (- 127 ~ + 127)
表示言語切り換え	M	E	L	A	_	_	_	1	英語
	M	E	L	A	_	_	_	2	ドイツ語
	M	E	L	A	_	_	_	3	スペイン語
	M	E	L	A	_	_	_	4	オランダ語
	M	E	L	A	_	_	_	5	フランス語
	M	E	L	A	_	_	_	6	イタリア語
	M	E	L	A	_	_	_	7	スウェーデン語
	M	E	L	A	_	_	_	8	ポルトガル語
	M	E	L	A	_	_	_	9	中国語
	M	E	L	A	_	_	1	0	韓国語
	M	E	L	A	_	_	1	1	日本語
	M	E	L	A	_	_	_	_	
Sビデオノビデオ選択時 映像信号方式 選択	M	E	S	Y	_	_	_	1	自動
	M	E	S	Y	_	_	_	2	PAL
	M	E	S	Y	_	_	_	3	NTSC 3.58
	M	E	S	Y	_	_	_	4	SECAM
	M	E	S	Y	_	_	_	5	NTSC 4.43
	M	E	S	Y	_	_	_	6	PAL (M)
	M	E	S	Y	_	_	_	7	PAL (N)
	M	E	S	Y	_	_	_	8	PAL (60Hz)
Sビデオノビデオ選択時 映像調整1	V	A	P	I	_	*	*	*	コントラスト (- 30 ~ + 30)
	V	A	B	R	_	*	*	*	明るさ (- 30 ~ + 30)
	V	A	R	D	_	*	*	*	赤 (- 30 ~ + 30)
	V	A	B	E	_	*	*	*	青 (- 30 ~ + 30)
	V	A	R	E	_	_	_	1	標準
映像調整2	V	A	C	O	_	*	*	*	色の濃さ (- 30 ~ + 30)
	V	A	T	I	_	*	*	*	色合い (- 30 ~ + 30)
	V	A	S	H	_	_	_	*	画質 (0 ~ 7)
	V	A	R	E	_	_	_	2	標準
コンボ ネット選択時 映像調整1	R	A	P	I	_	*	*	*	コントラスト (- 30 ~ + 30)
	R	A	B	R	_	*	*	*	明るさ (- 30 ~ + 30)
	R	A	R	D	_	*	*	*	赤 (- 30 ~ + 30)
	R	A	B	E	_	*	*	*	青 (- 30 ~ + 30)
	R	A	R	E	_	_	_	1	標準
映像調整2	R	A	C	O	_	*	*	*	色の濃さ (- 30 ~ + 30)
	R	A	T	I	_	*	*	*	色合い (- 30 ~ + 30)
	R	A	S	H	_	_	_	*	画質 (0 ~ 7)
	R	A	R	E	_	_	_	2	標準
RGB選択時 映像調整	R	B	P	I	_	*	*	*	コントラスト (- 30 ~ + 30)
	R	B	B	R	_	*	*	*	明るさ (- 30 ~ + 30)
	R	B	R	D	_	*	*	*	赤 (- 30 ~ + 30)
	R	B	B	E	_	*	*	*	青 (- 30 ~ + 30)
	R	B	R	E	_	_	_	1	標準
無信号時画面 表示選択	I	M	B	G	_	_	_	3	Blue
	I	M	B	G	_	_	_	4	None
音量調整	V	O	L	A	_	_	*	*	音量 (0 ~ 60)
AVミュート	I	M	B	K	_	_	_	1	AVミュート
	I	M	B	K	_	_	_	0	AVミュート取り消し

制御項目	コマンド				パラメータ				制御内容
	C1	C2	C3	C4	P1	P2	P3	P4	
画面設定	I	M	R	E	_	_	_	0	左右反転[オフ]
	I	M	R	E	_	_	_	1	左右反転[オン]
	I	M	I	N	_	_	_	0	上下反転[オフ]
	I	M	I	N	_	_	_	1	上下反転[オン]
入力1RGB リサイズ	R	B	S	R	_	_	_	1	ノーマル
	R	B	S	R	_	_	_	2	ドットバイドット
入力1コンポーネン ト (色差) リサイズ	R	A	S	R	_	_	_	1	ズーム
	R	A	S	R	_	_	_	2	スクイーズ (フル)
	R	A	S	R	_	_	_	3	ノーマル
入力2 (S-ビデオ) 入力3 (ビデオ) リサイズ	R	A	S	V	_	_	_	1	ズーム
	R	A	S	V	_	_	_	2	スクイーズ (フル)
	R	A	S	V	_	_	_	3	ノーマル
入力1RGB ガンマ設定	G	A	M	R	_	_	_	1	標準
	G	A	M	R	_	_	_	2	ガンマ1
	G	A	M	R	_	_	_	3	ガンマ2
入力1コンポーネン ト (色差) 入力2 (S-ビデオ) 入力3 (ビデオ) ガンマ設定	G	A	M	V	_	_	_	1	標準
	G	A	M	V	_	_	_	2	ガンマ1
	G	A	M	V	_	_	_	3	ガンマ2
自動同期調整	A	D	J	S	_	_	_	1	自動同期調整
省電力設定	T	H	M	D	_	_	_	1	OFF
	T	H	M	D	_	_	_	0	ON
特殊モード	S	P	M	D	_	_	_	0	640 X 480
	S	P	M	D	_	_	_	1	480p

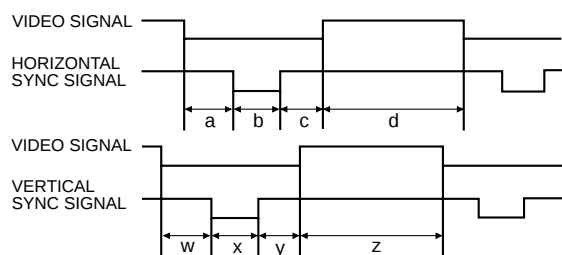




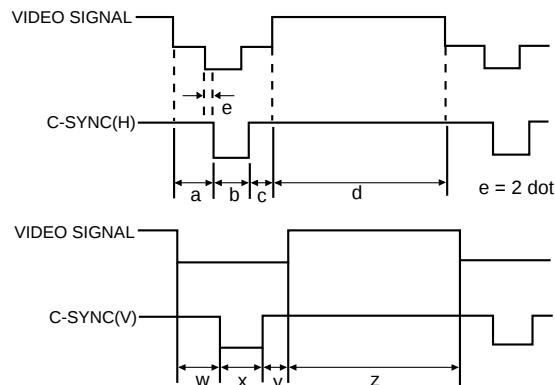
RGB 入力信号(推奨信号)について

種類の違うコンピュータ信号のコンピュータ出力信号のタイミングは参考まで下記に示します。

IBMコンピュータ・互換機



Macintoshシリーズ



下表はVESA準拠モード一覧です。ただし本機はVESA規準以外の信号にも対応しています。

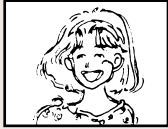
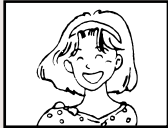
		MODE		VIDEO		HSYNC										LEVEL	VSYNC							
						FRONT PORCH a	SYNC b	BACK PORCH c	VIDEO PERIOD d	1H (a+b+c+d)		1dot	1/H	1/dot	FRONT PORCH w		SYNC x	BACK PORCH y	VIDEO PERIOD z	1V (w+x+y+z)		1/V	LEVEL	
		dot	line	LEVEL	TYPE	dot	dot	dot	dot	dot	μs	ns	kHz	MHz	H		H	H	H	H	ms	Hz		
VGA	VESA Standard	640	350	0.7 Vp-p 75 Ω load	R·G·B	32	64	96	640	832	26.4	31.7	37.861	31.500	TTL	32	3	60	350	445	11.8	85.080	TTL	
		640	400			32	64	96	640	832	26.4	31.7	37.861	31.500		1	3	41	400	445	11.8	85.080		
		720	400			36	72	108	720	936	26.4	28.2	37.927	35.500		1	3	42	400	446	11.8	85.039		
		Industry Standard	640			480	8	96	40	640	800	31.8	39.7	31.469		25.175	2	2	25	480	525	16.7		59.940
	640		480			16	40	120	640	832	26.4	31.7	37.861	31.500		1	3	20	480	520	13.7	72.809		
	640		480			16	64	120	640	840	26.7	31.7	37.500	31.500		1	3	16	480	500	13.3	75.000		
	640		480			56	56	80	640	832	23.1	27.8	43.269	36.000		1	3	25	480	509	11.8	85.008		
	SVGA	VESA Guidelines	800			600	24	72	128	800	1,024	28.4	27.8	35.156		36.000	1	2	22	600	625	17.8		56.250
800			600			40	128	88	800	1,056	26.4	25.0	37.879	40.000		1	4	23	600	628	16.6	60.317		
800			600			56	120	64	800	1,040	20.8	20.0	48.077	50.000		37	6	23	600	666	13.9	72.188		
800			600			16	80	160	800	1,056	21.3	20.2	46.875	49.500		1	3	21	600	625	13.3	75.000		
VESA Standard		800	600			32	64	152	800	1,048	18.6	17.8	53.674	56.250		1	3	27	600	631	11.8	85.061		
		1,024	768			8	176	56	1,024	1,264	28.2	22.3	35.522	44.900		0	4	20	768	817	23.0	43.479		
		1,024	768			24	136	160	1,024	1,344	20.7	15.4	48.363	65.000		3	6	29	768	806	16.7	60.004		
		1,024	768			24	136	144	1,024	1,328	17.7	13.3	56.476	75.000		3	6	29	768	806	14.3	70.069		
XGA	VESA Guidelines	1,024	768			16	96	176	1,024	1,312	16.7	12.7	60.023	78.750		1	3	28	768	800	13.3	75.029		
		1,024	768			48	96	208	1,024	1,376	14.6	10.6	68.677	94.500		1	3	36	768	808	11.8	84.997		
		1,152	864			64	128	256	1,152	1,600	14.8	9.3	67.500	108.000		1	3	32	864	900	13.3	75.000		
		1,280	960			96	112	312	1,280	1,800	15.7	9.3	60.000	108.000		1	3	36	960	1,000	16.7	60.000		
	VESA Standard	1,280	1,024			48	112	248	1,280	1,688	15.6	9.3	63.981	108.000		1	3	38	1,024	1,066	16.7	60.020		
		13" Monitor	640	480	64	64	96	640	864	28.6	33.1	35.000	30.2400	3	3	39	480	525	15.0	66.670				
Macintosh	16" Monitor	832	624	31	65	224	832	1,152	20.1	17.5	49.693	57.246	1	3	39	624	667	13.4	74.502					
	19" Monitor	1,024	768	35	96	173	1,024	1,328	16.7	12.5	60.000	79.760	3	3	30	768	804	13.4	74.700					
	DTV	480i	640	480	Y 1.0Vp-p C: 0.7Vp-p G: 0.7Vp-p	COMPONENT	—	—	—	—	—	15.734	—	—	—	—	—	—	—	59.940				



- 本機は、同時(CRT/LCD)モードでノート型パソコンからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型パソコン側で液晶表示をオフにして“CRTのみ”モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型パソコンの操作マニュアルに記載されています。



故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声もない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	26
	・本体の電源が「切」の状態になっていませんか。	26
	・接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	・表示させる画面の選択がまちがっていませんか。	27
	・プロジェクター背面・側面の配線は、正しく接続されていますか。	19～24
	・リモコンの乾電池が消耗していませんか。	12
	・側面のエアフィルターカバーはきちんと取り付けられていますか。	60
	・ノートパソコンを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	-
 音声は出るが映像が出ない	・プロジェクター背面・側面の配線は、正しく接続されていますか。	19～24
	・映像調整の「明るさ」が「- (マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	36～39
	・入力切換は合っていますか。	27
	・コンポーネント(色差)映像信号は525iの信号ですか。 本機に入力できるコンポーネント(色差)映像信号は525iだけです。	22
 色がうすい、色あいが悪い	・映像調整は、正しく調整されていますか。	36～39
	ビデオ入力するとき ・ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。	44
	・リモコンの入力切換ボタンで色差入力/RGB入力が正しく設定されていますか。	27
 映像がボヤける ノイズが発生する	・レンズのフォーカスは合っていますか。	28
	・投影距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	16
	コンピュータ入力するとき ・同期調整(クロック調整)を行ってください。 ・同期調整(位相調整)を行ってください。	40・41
 映像は出るが音声が出ない	・プロジェクター背面・側面の配線は、正しく接続されていますか。	19～24
	・音量が最小になっていませんか。	27
	・音声コードが正しく接続されていますか。	20～24
キャビネットから時々「ビシッ」と音がする	・画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせ表示が点灯する	・「お知らせ表示 / ランプ(光源)」について」をご覧ください。	58
リモコンが正しく動作しない	・乾電池が消耗していませんか。 ・乾電池は正しく入っていますか。	12
冷却ファンの音が急に大きくなる	・周囲温度が高くなっていますか。 ・エアフィルターのお手入れを実施してください。	58 60
省電力モードを「OFF」にすると、冷却ファンの音が大きくなる	・省電力モードを「OFF」にすると明るくできますが内部温度の上昇を防ぐため、冷却ファンの回転数を自動的に早めます。 そのためファンの音が大きくなります。故障ではありません。	55
操作できない	・起動画面や同期調整中は、電源以外のボタンは働きません。	26・41
	・信号が入力されてないときは、メニュー操作ができません。	34
AVミュートを「入」↔「切」したとき映像がおかしく見える	・AVミュートを「入」↔「切」したとき、ノイズ等により、一瞬映像がおかしく見える場合があります。故障ではありません。	27





アフターサービスについて

保証について

- ① この液晶プロジェクターには、保証書がついています。保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- ② 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。ただし、ランプ(光源)のみは6ヵ月となります。保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。故障のときは、お申しつけにより「出張修理」いたします。くわしくは保証書をご覧ください。
- ③ 保証期間中は修理などアフターサービスについておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(70ページ)にお問い合わせください。
- ④ 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

保証期間

- ランプ(光源)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
- ランプ(光源)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。

お願い

ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知おきください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプ交換してください。

補修用性能部品について

液晶プロジェクターの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です

修理を依頼されるときは

故障のときは使用をやめて、電源プラグをコンセントから抜き修理をお申しつけください。故障のままお使いになったり、ご自分での修理は危険です。
ご転居、ご贈答品などで、お買いあげの販売店に修理を依頼することができない場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

- 修理依頼時につぎのことをお知らせください。

- 商品名 液晶プロジェクター
- 形 名 PG-C20XJ
- 故障状況(できるだけくわしく)
- ご氏名
- ご住所(付近の目印など道順)
- お電話番号

愛情点検



長年ご使用の液晶プロジェクターの点検を! こんな症状はありませんか?

- 電源コードやプラグが異常に熱い。 ● 電源ボタンを入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。
- 画面が映ったり、消えたりする。 ● 映像が乱れたり、色がきれいに出不い。 ● その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。





お客様ご相談窓口のご案内

修理サービスを依頼される前に 68 ページの「故障かな?と思ったら」をお読みください。

- この製品についてのご意見・ご質問は、シャープ消費者相談室またはお客様ご相談窓口へお寄せください。
お電話でお寄せいただく場合は、電話番号をよくお確かめのうえおかけいただくようお願い申し上げます。
まちがい電話は相手の方に迷惑になるだけでなく、お客様にとっても不経済なものとなります。

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買いあげの販売店へ
なお、転居されたり、贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入などのご相談は..... **修理ご相談窓口** へ
(注) *印の窓口は『持ち込み修理及び部品購入』のご相談窓口です。
- 製品に対するご意見・ご要望などは..... **一般ご相談窓口** へ

修理ご相談窓口

出張修理のご相談はCSセンターにご連絡ください。

受付時間：月曜日～土曜日 午前9時～午後5時40分

(日曜日、祝日など弊社休日日は休ませていただきます。)

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
北海道	CSセンター	(011)641-4690		東京都	*城南	(03)3776-2419	東京都大田区南馬込 1-5-15
	[*札幌]	(011)641-4685	札幌市西区二十四軒 1 条 7-3-17		*城北	(03)3972-4195	東京都板橋区東新町 1-33-11
	北見	(0157)36-4649	北見市三輪 435		*世田谷	(03)3707-3345	東京都世田谷区用賀 3-8-18
	帯広	(0155)21-6925	帯広市西 8 条南 3-17		*田端	(03)5692-7765	東京都北区東田端 2-13-17
	苫小牧	(0144)34-7740	苫小牧市本町 2-6-10		*三多摩	(042)586-6059	日野市日野台 5-5-4
	室蘭	(0143)45-4649	室蘭市中島町 1-9	神奈川県	CSセンター	(03)5692-7722	
	釧路	(0154)25-4649	釧路市光陽町 8-13		[*横浜]	(045)753-4647	横浜市磯子区中原 1-2-23
	旭川	(0166)25-4649	旭川市一条通 4-左 10		*湘南	(0463)54-4738	平塚市田村 1381
	函館	(0138)51-4649	函館市五稜郭町 31-17		*相模原	(0427)59-4195	相模原市横山 2-2-12
青森県	青森	(0177)38-0281	青森市妙見 3-3-4	山梨県	CSセンター	(03)5692-7722	
	弘前	(0172)27-4649	弘前市豊田 3-5-1		[*山梨]	(055)228-5375	甲府市富竹 2-1-17
	八戸	(0178)44-4649	八戸市小中野 2-8-16	静岡県	CSセンター	(054)285-9360	
秋田県	秋田	(018)863-4649	秋田市川尻町大川反 170-56		[*静岡]	(054)285-9340	静岡市曲金 6-8-44
	横手	(0182)33-4649	横手市横手町六の口 5		*沼津	(0559)22-5249	沼津市宮前町 11-4
岩手県	岩手	(019)638-6087	紫波郡矢巾町流通センター南 3-1-1		*浜松	(053)463-4680	浜松市植松町 1476-2
	釜石	(0193)23-4649	釜石市上中島町 4-6-43	長野県	CSセンター	(026)293-6612	
宮城県	CSセンター	(022)288-9250			[*松本]	(0263)27-4694	松本市芳野 8-14
	[*宮城]	(022)288-9142	仙台市若林区卸町東 3-1-27		*長野	(026)293-6262	長野市篠ノ井塩崎東田沢 6877-1
山形県	山形	(023)631-4649	山形市飯田 2-7-43	愛知県	CSセンター	(052)332-5880	
	酒田	(0234)24-4649	酒田市大町 19-5		[*名古屋]	(052)332-2623	名古屋市中区山王 3-5-5
福島県	福島	(024)945-4649	郡山市安積町荒井方八丁 33-1		*岡崎	(0564)24-2343	岡崎市柿田町 1-2-1
	会津若松	(0242)25-4649	会津若松市山見町 41-2		*豊橋	(0532)53-4647	豊橋市下地町橋口 17-1
	いわき	(0246)28-4649	いわき市自由ヶ丘 37-10	岐阜県	CSセンター	(052)332-5880	
新潟県	CSセンター	(025)285-1513			[*岐阜]	(058)273-4969	岐阜市六条南 3-12-9
	[*新潟]	(025)285-3663	新潟市上所中 1-7-21	三重県	CSセンター	(052)332-5880	
	[*長岡]	(0258)23-1819	長岡市摂田屋町崩 2600		[*三重]	(059)232-6300	津市栗真町屋町蒲池 328
栃木県	CSセンター	(03)5692-7722		富山県	CSセンター	(076)269-1875	
	[*栃木]	(028)637-1179	宇都宮市不動前 4-2-41		[*富山]	(076)451-2459	富山市金泉寺 71-1
	[*小山]	(0282)62-5466	下都賀郡藤岡町藤岡 5201	石川県	CSセンター	(076)269-1875	
群馬県	CSセンター	(03)5692-7722			[*金沢]	(076)249-2434	石川郡野々市町御経塚町 1096-1
	[*群馬]	(027)252-4706	前橋市問屋町 1-3-7	福井県	CSセンター	(076)269-1875	
茨城県	CSセンター	(03)5692-7722			[*福井]	(0776)54-2459	福井市北四ツ居町 625
	[*茨城]	(029)241-4930	水戸市千波町 1963	滋賀県	CSセンター	(06)6795-2899	
	*南茨城	(0298)57-9130	つくば市栗原 2857-9		[*滋賀]	(077)545-4692	大津市栗林町 11-35
埼玉県	CSセンター	(03)5692-7722			*彦根	(0749)24-4643	彦根市東沼波町 133
	[*埼玉中央]	(048)666-7987	大宮市宮原町 2-107-2	京都府	CSセンター	(06)6795-2899	
	*埼玉東	(0489)78-7101	越谷市南萩島 346-1		[*京都]	(075)672-2378	京都市南区上鳥羽菅田町 48
千葉県	CSセンター	(03)5692-7722			*北近畿	(0773)23-9151	福知山市末広町 6-13
	[*千葉]	(043)299-8840	千葉市美浜区中瀬 1-9-2	大阪府	CSセンター	(06)6795-2800	
	*西千葉	(0473)68-4766	松戸市稔台 295-1		[*大阪]	(06)6643-5331	大阪市浪速区恵美須西 1-2-9
	*東千葉	(0479)79-1181	八日市市場市高宇東 2779-4		*堺	(0722)45-4651	堺市老松町 1-3-9
	*木更津	(0438)37-7912	木更津市請西 2-5-22		*大阪TC	(06)6794-5611	大阪市平野区加美南 3-7-19
東京都	CSセンター	(03)5692-7722			*南大阪	(0724)31-1950	貝塚市沢 1215
	[*江東]	(03)3626-4642	東京都墨田区石原 2-12-3		*北大阪	(0726)34-4519	茨木市鮎川 5-15-3



担当地域	拠 点 名	電 話 番 号	所 在 地	担当地域	拠 点 名	電 話 番 号	所 在 地
(兵庫県)	[* 阪 神	(06)6421-4877	尼崎市猪名寺 3-2-10	香 川 県	CSセンター	(087)823-5513	
兵 庫 県	CSセンター	(06)6795-2899		[* 香 川	(087)823-4901		高松市朝日町 6-2-8
	[* 兵 庫	(078)791-1541	神戸市須磨区弥栄台 3-15-2	徳 島 県	CSセンター	(088)625-4684	
	[* 神 戸	(078)453-4651	神戸市東灘区魚崎北町 1-6-18	[* 徳 島	(088)625-4654		徳島市中常三島町 3-11-14
	[* 姫 路	(0792)66-1819	姫路市青山 5-7-7	愛 媛 県	CSセンター	(089)971-4729	
	[* 豊 岡	(0796)23-7515	豊岡市九日市上町下畑 77-1	[* 愛 媛	(089)971-4563		松山市高岡町 178-1
奈 良 県	CSセンター	(06)6795-2899		高 知 県	CSセンター	(088)882-4021	
	[* 奈 良	(0743)53-6693	大和郡山市美濃庄町 492	[* 高 知	(088)882-4635		高知市高須 960-1
	[* 奈良南	(0745)65-1492	御所市茅原 4-3	福 岡 県	CSセンター	(092)586-1122	
和歌山県	CSセンター	(064)6795-2899		[* 福 岡	(092)572-4652		福岡市博多区井相田 2-12-1
	[* 和歌山	(073)445-4615	和歌山市西小二里 2-4-91	[* 南福岡	(0942)45-8211		久留米市御井旗崎 3-7-14
	[* 南 紀	(0739)25-3121	田辺市稲成町 441-1	[* 北九州	(093)592-4677		北九州市小倉北区大手町 6-12
鳥 取 県	鳥 取	(0857)27-8831	鳥取市青葉町 2-204	佐 賀 県	CSセンター	(092)586-1122	
岡 山 県	CSセンター	(086)292-1707		[* 佐 賀	(0952)24-9450		佐賀市鍋島町八戸五本松籠 2043-2
	[* 岡 山	(086)292-1709	都窪郡早島町矢尾 828	長 崎 県	CSセンター	(095)844-1870	
島 根 県	CSセンター	(0852)24-4811		[* 長 崎	(0957)52-3511		大村市古賀島町 613-3
	[* 松 江	(0852)24-4810	松江市西津田 3-1-10	佐 世 保	(0956)32-6666		佐世保市白岳町 107-5
広 島 県	CSセンター	(082)874-8071		大 分 県	CSセンター	(097)552-9416	
	[* 広 島	(082)874-8149	広島市安佐南区西原 2-13-4	[* 大 分	(097)552-2313		大分市松原町 3-5-3
	CSセンター	(0824)28-7448		熊 本 県	CSセンター	(096)366-7070	
	[* 東広島	(0824)28-7490	東広島市八本松東 4-3-30	[* 熊 本	(096)364-4777		熊本市新屋敷 3-15-17
	CSセンター	(0849)51-7644		天 草	(0969)23-8711		本渡市港町 19-3
	[* 福 山	(0849)51-7654	福山市津之郷町津之郷上開地	宮 崎 県	CSセンター	(0985)31-1823	
山 口 県	CSセンター	(083)972-0870		[* 宮 崎	(0985)31-1832		宮崎市原町 4-12
	[* 山 口	(083)972-0891	吉敷郡小郡町若草町 4-12	鹿児島県	CSセンター	(099)253-0250	
	[* 東山口	(0833)44-0923	下松市西豊井 173-1	[* 鹿児島	(099)253-4600		鹿児島市鴨池新町 12-1

沖縄シャープ電機株式会社

担当地域	拠 点 名	電 話 番 号	所 在 地	担当地域	拠 点 名	電 話 番 号	所 在 地
沖 縄 県	那 覇	(098)861-0866	那覇市曙 2-10-1	鹿児島県	奄 美	(0997)53-4777	名瀬市塩浜町 8-1
	先 島	(09807)3-3603	平良市下里 214-4				

一般ご相談窓口

シャープ株式会社

東 日 本 相 談 室	TEL(0 4 3) 2 9 7 - 4 6 4 9	FAX(0 4 3) 2 9 9 - 8 2 8 0	〒 261-8520	千葉市美浜区中瀬 1-9-2
西 日 本 相 談 室	TEL(0 6) 6 6 2 1 - 4 6 4 9	FAX(0 6) 6 7 9 2 - 5 9 9 3	〒 547-0003	大阪市平野区加美南 4-3-41

受付時間：月曜日～土曜日 午前9時～午後6時

(日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

シャープエンジニアリング株式会社

北海道支店消費者相談室	(0 1 1) 6 4 2 - 4 6 4 9	〒 063-0801	札幌市西区二十四軒 1 条 7-3-17
東北支店消費者相談室	(0 2 2) 2 8 8 - 9 1 4 7	〒 984-0002	仙台市若林区卸町東 3-1-27
首都圏支店消費者相談室	(0 3) 3 8 9 3 - 4 6 4 9	〒 114-0013	東京都北区東田端 2-13-17
中部支店消費者相談室	(0 5 2) 3 3 2 - 4 6 4 9	〒 454-8721	名古屋市中川区山王 3-5-5
近畿支店消費者相談室	(0 6) 6 7 9 4 - 7 0 4 1	〒 547-8510	大阪市平野区加美南 3-7-19
中国支店消費者相談室	(0 8 2) 8 7 4 - 4 6 4 9	〒 731-0113	広島市安佐南区西原 2-13-4
四国支店消費者相談室	(0 8 7) 8 2 3 - 4 9 0 1	〒 760-0065	高松市朝日町 6-2-8
九州支店消費者相談室	(0 9 2) 5 7 2 - 4 6 5 5	〒 816-0081	福岡市博多区井相田 2-12-1

受付時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後5時40分

(土・日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

所在地・電話番号・受付時間などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(01.02)



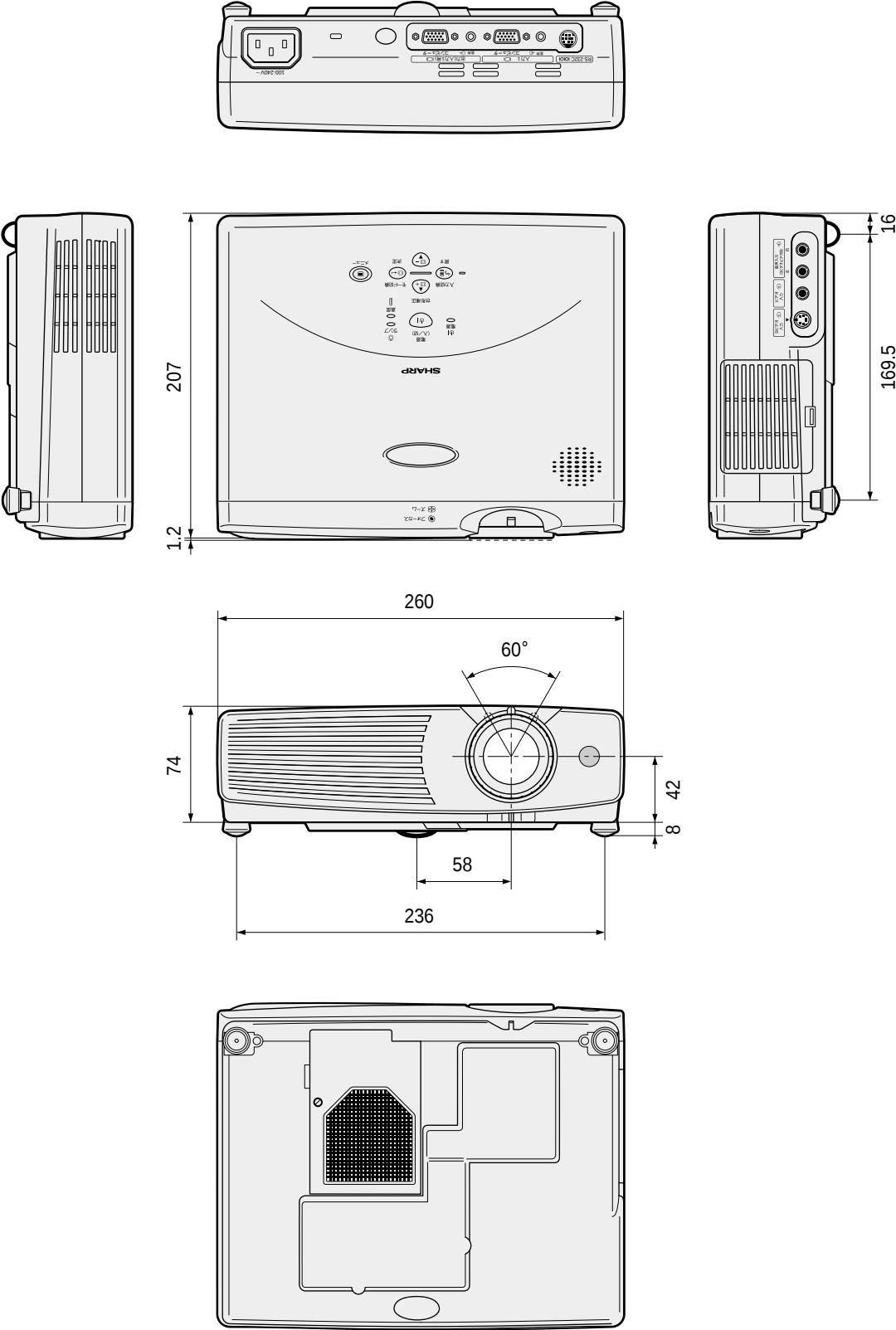
仕様

品名		液晶プロジェクター
形名		PG-C20XJ
表示方式		液晶パネル3枚、3原色光シャッター方式
液晶パネル	パネルサイズ	0.9 型 (縦13.9 mm×横18.5 mm)
	表示方式	透過型TN液晶パネル
	駆動方式	TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式
	画素数	786,432(縦768×横1,024)ドット 有効画素率99.99%以上 ×3
レンズ		1～1.2倍手動ズームレンズ F2.3～2.6 f=36.0～43.2 mm
ランプ		150W NSHランプ
コントラスト比		500:1
音声出力		1 W (モノラル)
スピーカー		φ2.8 cm 1個
定格電圧		AC100V～240V
定格周波数		50/60Hz
消費電力		230 W (リモコン待機時：5W)
使用温度範囲		5 ～ 35
保管温度範囲		-20 ～ +60
入力端子	コンピュータRGB/コンポーネント入力端子	RGB分離型アナログ信号 : 15ピンミニD-sub端子(入力1) コンポーネント(色差) : Y 1.0VP-P(75Ω) : C _B 0.7VP-P(75Ω) : C _R 0.7VP-P(75Ω) 音声 : 0.5Vrms、22kΩ以上 : 3.5φステレオミニジャック端子(入力1)
	S映像入力端子	輝度信号入力 : 1.0Vp-p、75Ω、同期負 : 4ピンミニDIN端子 色信号入力 : 0.286Vp-p(バースト信号)、75Ω
	ビデオ入力端子	映像 : 1.0Vp-p、75Ω、同期負 : RCAピン端子 音声 : 0.5Vrms、22kΩ以上 : RCAピン端子
出力端子	コンピュータRGBモニター出力端子	RGB分離型アナログ信号 : 15ピンミニD-sub端子 コンポーネント(色差) : Y 1.0VP-P(75Ω) : C _B 0.7VP-P(75Ω) : C _R 0.7VP-P(75Ω)
	音声モニター出力端子	音声 : 0.5Vrms、2.2kΩ以下 : 3.5φステレオミニジャック端子
RS-232C 端子		9ピンミニDIN
キャビネット		プラスチック
外形寸法		幅 260mm、奥行 207mm、高さ74mm (突起部除く)
質量		約2.6 kg
<付属品> ・リモコン ・単4乾電池×2本 ・電源コード ・コンピュータ(RGB)ケーブル ・コンピュータ音声ケーブル ・USBマウスコントロールケーブル(シリアル) ・マウスコントロールケーブル(PS/2用) ・リモートマウスレシーバー ・DIN-D-sub RS-232Cケーブル・エアフィルター(交換用) ・レンズキャップ ・レンズキャップストラップ ・取扱説明書(本書) ・保証書		

- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。



寸法図



単位：mm



用語集

AV ミュート

投影されている映像と音声を一時的に消す(ミュートする)機能です。

RS-232C

コンピュータからプロジェクターを制御するときに使用する端子です。

アスペクト比

映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常のアスペクト比は4:3です。アスペクト比が16:9/21:9という横幅の広いワイド映像もあります。

位相調整

コンピュータ入力時、画面の横方向に出るノイズを低減するための調整です。

オープニング画面

プロジェクターの電源が入ったときに表示される映像です。

クロック調整

コンピュータ入力時、画面の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

自動同期調整

コンピュータの画像を最良な状態で投影する機能です。

静止画機能

動く映像を一時停止する機能(静止画機能)です。画面上には"フリーズ"と表示されます。

ガンマ補正

映像や部屋の明るさに合わせ、コントラストや暗いシーンの階調を補正し、見やすいお好みの映像が選べる機能です。(標準とガンマ1、ガンマ2の3種類から選択できます)

画面の台形歪み(デジタルキーストーン)補正

プロジェクターの映像を投影したとき、台形に歪んだ映像を4:3の比率を保ちながらデジタル補正するための機能です。

無信号時表示画面

信号が入力されていないときに投影される設定画面です。

ワイヤレスマウス機能

付属のリモートマウスレシーバーをパソコンに接続することにより、本機のリモコンをマウスと同じように使用できる機能です。





索引

英数

RGB 入力信号	67
RS-232C ポート	65

ア行

アジャスター	15
アジャスターリリースボタン	15
アフターサービス	69
エアフィルターの交換	62
エアフィルターの掃除	60
映像信号方式を設定	44
映像の左右反転	46
映像の上下反転	46
映像をデジタル拡大	49
お客様ご相談窓口のご案内	70
お知らせ表示	58

カ行

画像表示モード	51
画面表示言語	54
ガンマ補正	50
キャビネットの手入れ	61
故障かな?	68
コネクタのピン配置	64
コンピュータとの接続	20
コンピュータの映像調整	36

サ行

自動同期調整	41
手動同期調整	40
省電力モード	55
シリアル (RS-232C) 端子へ接続	21
スクリーンの設置	16
静止画	48
接続例	19

タ行

電源コードの接続	19
天井取り付けによる投影	18
電池	12
同期調整	40
盗難防止用コネクター	10
特殊モード調整	42
特長	2

ナ行

入力信号の確認	43
無信号時電源オフモード	52

ハ行

反転映像の投影	18
ビデオ機器の接続	22
付属品	14

マ行

無信号時に表示する画面	53
モニターの接続	24

ラ行

ランプ (光源)	59
ランプ (光源) の使用時間	56
リモートマウスレシーバー	30
リモコン	11
リモコン受信部	12
リモコンの使用範囲	12
レンズキャップストラップ	9
レンズの手入れ	61
冷却ファンの手入れ	61



お問い合わせは、お客様ご相談窓口へ

- この製品についてのご意見・ご質問
「一般ご相談窓口」へお申し付けください。

東日本相談室

☎ (043)297-4649

FAX(043)299-8280

〒261-8520 千葉県美浜区中瀬1-9-2

西日本相談室

☎ (06)6621-4649

FAX(06)6792-5993

〒547-0003 大阪市平野区加美南4-3-41

受付時間：月曜日～土曜日 午前9時～午後6時
(日曜日、祝日など弊社休日は休ませていただきます。)

その他の地域にお住まいのかたは、「お客様ご相談窓口のご案内」の「一般ご相談窓口(71ページ)へお申し付けください。

- 製品の故障や部品のご購入などの相談
「修理ご相談窓口」へお申し付けください。
(くわしくは、70・71ページをご覧ください。)
修理サービスを依頼される前に、68ページの「故障かな?と
思ったら」をもう一度お読みください。

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町 22 番 22 号
電話 (06) 6621-1221 (大代表)
AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町 174 番地
電話 (0287) 43-1131 (大代表)

この取扱説明書は再生紙を使用しています。